

Working Paper Series (J)

No.46

単身女性の生活保障—家族と雇用に注目して
An analysis of Livelihood Security for single women:
Focusing on the effects of marital and employment status

西村幸満
Yukimitsu Nishimura

2021年03月

http://www.ipss.go.jp/publication/j/WP/IPSS_WPJ46.pdf



〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 6階

<http://www.ipss.go.jp>

本ワーキング・ペーパーの内容は全て執筆者の個人的見解であり、国立社会保障・人口問題研究所の見解を示すものではありません

単身女性の生活保障—家族と雇用に注目して

国立社会保障・人口問題研究所 西村幸満

1. 問題の所在

社会の変化は、その変化に対応できない層を必然的に生み出している。戦後の日本は、農業を中心とした第一次産業から、まず製造業を中心に第二次産業の拡大、つづいてサービス・販売業を中心に第三次産業の拡大をしつつ、自営業・家事手伝いといった働き方や未就業状態から企業・会社に雇用される働き方へと転換した（中村 1993、西村 2021）。この産業化という現象は先進国に共通で経験されたものの、それがもたらした生活への変化は先進国間では異なっていることで知られる。（Esping-Andersen 訳書 2016）。日本では、産業化の進展によって都市の労働力需要が高まり人の移動が都市部に集中して進み、生まれたときから移動前までにもっていた関係性は希薄になっていった。親・きょうだい・親戚とは離れ、その後地元に戻るものや移動先に定着して新しい生活基盤を作ることもある。戦後の高等教育への進学は、そもそも地方の供給過多という構造から若い層の都市移動をもたらしたし、このような人口の都市集中はさらなる雇用ニーズを生み出し拡大していった。

生活保障の観点からすると、このような変化と平行して、企業・会社をエージェント化して社会保険制度の充実化が進み（藤田至孝・塩野谷祐一編著 1997、武川・佐藤 2000）、とくに「男性稼ぎ主」モデルと呼ばれる、男性が主に働き、女性が家事・育児（家計補助の就労）を担う分業体制が構築されるようになった。生活保障は雇用により下支えされるようになり、社会保障は人生の後半に充実するようになってきているという（宮本 2009、大沢 2007）。

こうして人生の前半において正規雇用から外れると、現在の生活保障が脅かされ、将来の手厚い社会保障に支えられる可能性も低くなる。近年の急増する非正規雇用は、日本特有の現象として正規雇用と待遇面での格差が非常に大きくなっており、また企業・会社は社会保険の対象者としておらず、福利厚生も整備していない。失業者の雇用対策も、雇用から外れることを想定した即効性のあるものになっておらず、雇用保険の給付までの期間の長さなどが欠点として指摘される一方で、生活を維持するために個々の事情に関わらず即再就職することを余儀なくしている。

さらには、男性稼ぎ主モデルの想定していない単身者は、非正規雇用とも重なり、その生活を保障できない状態に陥りやすくなっている。比較的社会保障の充実した高齢単身者の問題が孤独・孤立死を契機に社会問題化しているなか（藤森 2010, 2016）、人生前半の単身者の問題は、晩婚化という遅延あるいは単独世帯の急増として把握されるに止まり、その実態については、これまでほとんど明らかにされてこなかった（三輪 2012, 2019）。国立社会保

障・人口問題研究所（2017）によれば、単身者の増加は、婚姻の遅延や若者層の未婚化と関係しており（山本 1993, 山内 2012）、家族と雇用の双方から排除され、生活保障が担保できない層となっている可能性が高い。現在、生活が不安定である層は、将来や老後も引き続き不安定であり続ける可能性もあり、これらの生活をどのように社会が設計していくかは、喫緊の課題となっている。

そもそも比較的に充実した社会保障に支えられていても、高齢者の社会的孤立が生じるのは、制度とは別に年齢が高まると離死別などにより社会関係が希薄化することと関係があり（斎藤 2018, 藤森 2010 など）、家族の担っていた役割・機能が低下している可能性が高いと考えられている。近年、若者層から増加している単独化・単身化という動向¹は、雇用との関係から女性側に必然的に生じたとみるものから（鎌田 2000 など）、家族機能の喪失により現在と将来にもリスクを積み増しするとの懸念も生じている（藤森 2010 など）。

2. 女性単身者の動向

社会の変化にともなって男性の社会的孤立が注目される一方で、女性単身者は、これまでほとんど分析の対象とならなかった。それは高齢女性の単身者が夫と離死別後には、子どもなどの家族に包摂されているとされていたからである。しかし、きょうだい数が大幅に低下するなか、女性単身者には、同居する家族（主に親やパートナー）による社会生活のサポートが脆弱になっており、また寿命も長くなり単身状態は長期化して改善は見込めないため、中高年の男性単身者同様にリスクは高いと考えられる。

一般に、若い女性未婚者の割合が急増する理由は、ひとつには女性の就労による経済的な自立の影響が大きいとされてきた。三輪（2012）は、44歳以下の単身者の独身理由の潜在クラス分析から、4つのクラスを抽出し、割合の高い順に「相手がいない」（.456）「時期待ち」（.201）「結婚不要」（.176）「経済事情」（.167）を抽出している。経済的な自立との関係でいえば、「時期待ち」と「経済事情」が当てはまるが、それらを合わせても、当事者にとっては「相手がいない」という女性が多くを占める独身理由が項目中の最大多数を占めていることを明らかにしている。また三輪（2019）では、40歳から59歳までの中年層においては、男性と比べて女性が結婚・交際へと遷移するとはいえないという。

経済的な自立については、1986年には「男女雇用機会均等法」が施行し、女性の働きやすい職場環境の構築が促されている。酒井（2004）は、この法律の前に就職した「均等法前世代」と、1986~1990年までの「均等法世代」、1990年代以降の「バブル崩壊後世代」という3つの世代を比較して女性未婚者の就業率を比較したところ、「均等法前世代」と「均等

¹ 山内（2012）は、単独世帯の動向について、人口要因と世帯形成要因に分け整理し、2005年の結果をもとに世帯形成要因が変化しないとして2030年までの参考推計値を求めている。その結果、人口要因は単独世帯の低下に寄与し、世帯形成要因が増加に寄与するため、結果として単独世帯は増加するという（p. 23）。しかしこの動向を年齢別にみると、第1次ベビー・ブーマーの影響を受ける高齢者の単独世帯の増加は著しいものの、若い世代（20-39歳）は低下すると予想されている（pp. 23-24）

法世代」との間に正規雇用率の違いは大きくないのに対して、「バブル崩壊後世代」一すなわち、就職氷河期世代と重なる世代一は非正規雇用就業率が高くなっているという (p. 66)。非正規雇用では、経済的自立は難しく、働く意欲がある女性は、独身を続けていかざるを得ない。安定した景気と「男女雇用機会均等法」により働く機会が拡大したため、結婚による支えがなくとも生活できるよう自立した女性像が描かれることも多かった。この点について単身者の家計に注目した重川 (2004) は、単身女性の家計について「単身者は独立可能な収入を得ているものの、生活費が多くかかり貯蓄は少な」(p. 188) いと指摘し、単身者が優雅な独身生活を謳歌しているというイメージを否定している。これは非正規雇用の拡大を示している。

単身世帯は同居家族による生活サポートと社会的孤立の 2 つへのリスク対応が弱い (藤森 2017)。女性単身者は、就業状態に関係なく、健康問題や失業などのリスクの直撃に脆弱なため、困窮に陥りやすい。それは、単身・単独女性 (以下、女性単身者) が、男性の単身者の場合と同様に、その生活様式ゆえに、病気や失業などの社会的リスクに直面したときに、収入が途絶えて社会経済的生活が不安定になる可能性をもっているためである。女性単身者の増加は、同時に社会的リスクに直面する機会の増大でもある。

これまでは、高齢男性の単身者の動向と支援に注目が集まってきた (斎藤 2018, 西村 2020 など)。それは、高齢男性単身者の社会性が、高齢であることと、男性であることの両方のネガティブな規定されて、より深刻な状況を生み出すという懸念があったためである。高齢女性が家族・親族と比較的良好な社会関係を維持するのに対して、高齢男性の社会性は、就業を引退する年齢になると急激に低下するためである (国立社会保障・人口問題研究所 2019)

われわれの生活は地域・家族といった関係性が希薄化している。もって生まれたときには保持していた関係は 20 代の半ばまでに一気に希薄化する。それは就職や結婚といったライフ・イベントと密接に関わっており、生活の中に新たな関係性の比重が増すためである。生まれたときに比べて新たに作り出す関係には、同時に新たな地域の新たな家族となることがある。

近年、生活保障における雇用と家族という 2 つの役割に注目して、貧困 (社会的排除) という観点から支援との関わりにまで言及する研究も生じている (小杉・宮本 2015, 小杉・鈴木・野依 2017 など)。

西村 (2021) は、生活困窮者自立支援窓口を実施した調査に基づいて、女性単身者を年齢と就業状態を考慮して 6 つの分類 (21-35 歳、36-45 歳、46-60 歳の正規・非正規である) を作成してその実態を明らかにしている。そこでは、21-35 歳の正規・非正規ともに相談の導入時点と実際の支援内容の 2 つに窓口の評価が集中していること、正規においては 36-45 歳、46-60 歳と年齢層が高まるにしたがい、相談できなかったことを相談できたことへの評価が高まること示される。生活困窮者自立支援相談窓口は、具体的な支援へと繋げることが目的であるが、相談する以前よりも、抱えている精神的な苦痛を吐露できることが評価のポイントであろう。非正規の 36 歳以降は、具体的な支援への評価はなかったものの、気持

ちの前向き、ひとり立ちなど気持ちの変化がみられている。

46-60歳は、就業状態が正規職・非正規職の違いにかかわらず、相談評価の厚みが増すことは確かであろう。また正規職に比べて非正規職の方が、就業から得られる安定は少ない。病気になったときには、正規職であれば病気休暇や有休休暇を取得することができるが、非正規職では取得できない(そもそもそうした福利厚生がない)ことが多く、病気の長期化は、すなわち失業へと繋がる可能性が高い。年齢の高さと非正規という不安定就業に就くことが、生活困窮に陥る可能性を高めている。同じ46-60歳の正規と比べ、言えなかった相談の評価は、自殺を考えていたや一人では乗り越えられなかったなど、よりシビアで深刻な評価になっているという。正規職に比べて非正規職であることの不安定な傾向は強いといえる。

先行研究同様に、収入の多寡に注目することも1つの方法であるが、個人収入に注目すると支え合いがみえないため、誰が生活費用を担っているかという視点からアプローチをすることにした。単身者の生活費用の担い手はどうなっているのか。男性と女性では異なるのか。はじめに事実関係を明らかにし、その際には、単独、単身、未婚者など居住状態と婚姻状況に鑑みながら分析をおこなう。

3. データと変数

使用した「生活と支え合いに関する調査(2017年)」の個票データは、国立社会保障・人口問題研究所調査研究プロジェクト「生活と支え合いに関する調査(2017年)二次利用分析プロジェクト」のもとで、二次利用申請により使用の承認を得たものである。

使用する変数は、社会的孤立を測る指標作成のため、「生活と支え合いに関する調査」4つの項目に注目している。「あなたはふだんの程度、人と会話や世間話をしますか」と幅広く会話の頻度を尋ねた項目(個人票問23)で、回答者は、「1 毎日」「2 2~3日に1回」「3 4~7日に1回」「4 2週間に1回」「5 1か月に1回」「6 ほとんどしない」のうち1つを選択する。このうち、回答の4から6を選択した場合を、会話の欠如として定義し、使用している。

つぎに、「あなたは次に挙げる(1)~(9)の事柄で頼れる人はいますか」と頼れる人の有無を尋ねた項目(個人票問28)で、回答者は、「1 いる」「2 いない」「3 そのことでは人に頼らない」のうち1つを選択している。このうち、回答の2あるいは3を選択しかつ9つの事柄(「(1)子どもの世話や看病」「(2)(子ども以外の)世話や看病」「(3)重要な事柄の相談」「(4)愚痴を聞いてくれること」「(5)喜びや悲しみを分かち合うこと」「(6)いざというときのお金の援助」「(7)日頃のちょっとしたことの手助け」「(8)家を借りるときの保証人を頼むこと」「(9)成年後見人・保佐人を頼むこと」)の選択がすべてに当てはまる場合を、広義の受領的サポートの欠如とし、また回答の2のみを選択し9つの項目すべてを選択した場合を狭義の受領的サポートの欠如とそれぞれ定義し、使用している。

さらに「あなたは、(1)から(4)の人が、次に挙げる1から7の事柄について助けを

必要としているときに、それらの事柄をしますか」と尋ねた項目（個人票問 29）に対しては、人を「(1) 家族・親族」「(2) 友人・知人」「(3) 近所の人」「(4) 職場の人」の4つとし、事柄を「1 子どもの世話や看病」「2 (子ども以外の) 介護や看病」「3 重要な事柄の相談」「4 愚痴を聞くこと」「5 喜びや悲しみを分かち合うこと」「6 いざという時のお金の援助」「7 日頃のちょっとした手助け」「8 1～7までのことはしない」としたうえで、4つのすべて人に対して「8 1～7までのことはしない」という事柄を選択した場合を提供的サポートの欠如と定義して使用している。

そして「あなたは次に挙げる(1)から(7)の会やグループに参加していますか」と尋ねた項目（個人票問 25）に対して、会やグループとして「(1) 自治会や町内会」「(2) ボランティアやNPO」「(3) 宗教団体（檀家や氏子を含む）」「(4) PTA や保護者会」「(5) 趣味の会やスポーツクラブ」「(6) 職場内の会やグループ」「(7) 同じ学校出身者の会やグループ」をあげ、それぞれに「1年以上前から参加している」「この1年以内に新たに参加するようになった」「参加したいができない」「参加する予定はない」のうち1つを選択している。その選択がすべての会やグループにおいて、「参加したいができない」と「参加する予定がない」のどちらかを選択した場合を広義の社会参加の欠如、同様にすべての会やグループにおいて「参加したいができない」を選択した場合を狭義の社会参加の欠如と定義している。

このように4つの社会的孤立関連指標（会話の欠如、広義の受領的サポートの欠如、提供的サポートの欠如、広義の社会参加の欠如）に基づいて、該当する個数を計算し、1から4個すべての該当のカテゴリーと、さらに1該当のそれぞれ（会話の欠如、受領的サポート、提供的サポート、社会参加欠如）、2該当の場合は、その組み合わせ（会話と受領、会話と提供、会話と社会参加、受領と提供、受領と社会参加、提供と社会参加）のカテゴリー、3該当の場合もその組み合わせ（会話と受領と提供、会話と受領と社会参加、会話と提供と社会参加、受領と提供と社会参加）を区分して変数を再構成している。

これら4つの社会的孤立に関わる変数に加えて、個人票問 15 から作成した10歳ごとの年齢コホートと60歳未満と60歳以上の2つに分けた年齢カテゴリーと性別、世帯票問 12 から作成した、14の世帯類型（「単独高齢男性世帯」、「単独高齢女性世帯」、「単独非高齢男性世帯」、「単独非高齢女性世帯」、「夫婦ともに高齢者世帯」、「夫婦の一方が高齢者世帯」、「夫婦ともに非高齢者世帯」、「高齢者のみ世帯」、「高齢者以外も含む世帯」、「二親世帯（三世代）」、「二親世帯（二世代）」、「ひとり親世帯（三世代）」、「ひとり親世帯（二世代）」、「その他有子世帯」）²、個人票問 16 の婚姻状況（「1 未婚」「2 配偶者あり」「3 死別」「4 離別」）、世帯票問 4 の「過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料がかえ

² なお、これら14の類型をさらに合併して、7つの類型に再構成して使用している。「単独」：4つの単独変数を1つに。「夫婦」：3つの夫婦変数を1つに。「高齢者のみ世帯」、「高齢者以外も含む世帯」「その他の有子世帯」はそのまま。「二親」：2つの二親変数を1つに。「一人親」：2を1つに。

ないことがありましたか」に対して、「1 よくあった」「2 ときどきあった」「3 まれにあった」「4 まったくない」の選択肢のうち、1から3を選択した場合、同様の手続きで世帯票問5の衣料が買えない場合も定義した。世帯票問6「あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で公共料金の未払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか」に対して、8つの事案として「(1) 電気料金の未払い」「(2) ガス料金の未払い」「(3) 水道料金の未払い」「(4) 電話代の未払い」「(5) 家賃の滞納」「(6) 住宅ローンの滞納」「(7) 住民税の滞納」「(8) その他の債務不履行」をあげ、それぞれ「1 あった」「2 なかった」「3 該当しない」の選択のうち、8項目のいずれか1つでも1を選択した場合と、8項目すべてで2あるいは3を選択した場合を定義づけしている。世帯票問7の生活保護の受給の有無、個人票問1の健康、個人票問4の「6月のあなたの気持ち」について「(1) まわりの物事に神経過敏に感じた」「(2) 何かに絶望的だと感じた」「(3) そわそわ落ち着かなく感じた」「(4) 気分が沈みこんで、何が起こっても気が晴れないように感じた」「(5) 何をするのも面倒くさいと感じた」「(6) 自分は価値のない人間だと感じた」に対して、それぞれ「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」「まったくなく」と回答したものを使用している。さらにこの変数は、「いつも」から「まったくなく」に4から0の得点を配分し6つの気持ちを合計した後に、0~4を「陰性」、5~8を「軽度」9~12を中等度、13~24を重度とし、K6として定義して使用している。個人票問10の「現在、収入をとまなう仕事をしていますか」に対して、「1 仕事をしている」「2 仕事をしていない(探している)」「3 仕事をしていない(探していない・学生)」のいずれかを選択した場合を使用している。つづいて、個人票問11を用いて、現在の就業状態と学校を卒業後に最初に就いた仕事の就業状態について変数化を行った。ここでは、就業状態を一般雇用役員、一般雇用正規、一般雇用非正規、自営業の4つに再構成している。個人票問20の現在の暮らし向きについては、「1 大変ゆとりがある」「2 ややゆとりがある」「3 普通」「4 やや苦しい」「5 大変苦しい」のいずれかを回答した場合を使用している。個人票問21の「昨年1年間のあなたの収入(税・社会保険料を引いた後の手取りの金額)」についての金額を世帯ごとに合計し、世帯人数を考慮した作成した等価可処分所得を使用している。

だれが生活を支えているかについては、個人票問20の(2)について「あなたの生活費用の担い手についてお尋ねします」と確認し、「1 自分」「2 父親」「3 母親」「4 祖父母」「5 きょうだい」「6 配偶者(夫または妻)」「7 子ども」「8 その他の親戚」「9 公的支援」「10 その他」のなかからあてはまるものすべてを選択してもらい、分析に際しては、以下のように再構成をしている。すなわち、「1 本人」「2 配偶者」「3 両方(本人と配偶者)」「4 父のみ」「5 母のみ」「6 父母のみ」「7 本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ」としている。

3. だれが単身者の生活を支えているのか。

3.1 家族の在り方と生活費用の担い手

はじめに未婚者、単身者、単独世帯の関係について整理をおこなう。単身者と単独世帯は基本的に重なる概念でもあるが状況によっては異なったものになる。どちらも生活を一人で暮らしているという点では共通するものの、婚姻状態や家族構成を念頭におくと概念定義にはズレが生じる。単身者は、婚姻状態を念頭におくと未婚者が第一義的に定義され、配偶者ありは排除されるが、死別と離別は単身者に含まれる。

図表1 婚姻状況と世帯構成（総計、男女別）

婚姻状態 (男女計)		世帯構成							計
		単独	夫婦	高齢のみ	高齢以外含む	二親	一人親	他有子	
未婚	N	944	7	39	2,334	496	95	8	3,923
	%	24.06	0.18	0.99	59.50	12.64	2.42	0.20	100.00
配偶者あり	N	178	4,482	130	3,268	4,178	54	19	12,309
	%	1.45	36.41	1.06	26.55	33.94	0.44	0.15	100.00
死別	N	696	4	70	606	113	35	1	1,525
	%	45.64	0.26	4.59	39.74	7.41	2.30	0.07	100.00
離別	N	447	6	25	376	76	153	1	1,084
	%	41.24	0.55	2.31	34.69	7.01	14.11	0.09	100.00
Total	N	2,265	4,499	264	6,584	4,863	337	29	18,841
	%	12.02	23.88	1.40	34.95	25.81	1.79	0.15	100.00
<hr/>									
男性		単独	夫婦	高齢のみ	高齢以外含む	二親	一人親	他有子	計
未婚	N	564	3	21	1,303	243	45	3	2,182
	%	25.85	0.14	0.96	59.72	11.14	2.06	0.14	100.00
配偶者あり	N	128	2,297	70	1,632	2,055	10	9	6,201
	%	2.06	37.04	1.13	26.32	33.14	0.16	0.15	100.00
死別	N	147	1	10	96	21	11	0	286
	%	51.40	0.35	3.50	33.57	7.34	3.85	0.00	100.00
離別	N	222	4	8	115	14	17	1	381
	%	58.27	1.05	2.10	30.18	3.67	4.46	0.26	100.00
Total	N	1,061	2,305	109	3,146	2,333	83	13	9,050
	%	11.72	25.47	1.20	34.76	25.78	0.92	0.14	100.00
<hr/>									
女性		単独	夫婦	高齢のみ	高齢以外含む	二親	一人親	他有子	計
未婚	N	380	4	18	1,031	253	50	5	1,741
	%	21.83	0.23	1.03	59.22	14.53	2.87	0.29	100.00
配偶者あり	N	50	2,185	60	1,636	2,123	44	10	6,108
	%	0.82	35.77	0.98	26.78	34.76	0.72	0.16	100.00
死別	N	549	3	60	510	92	24	1	1,239
	%	44.31	0.24	4.84	41.16	7.43	1.94	0.08	100.00
離別	N	225	2	17	261	62	136	0	703
	%	32.01	0.28	2.42	37.13	8.82	19.35	0.00	100.00
Total	N	1,204	2,194	155	3,438	2,530	254	16	9,791
	%	12.30	22.41	1.58	35.11	25.84	2.59	0.16	100.00

図表 2 単独世帯の婚姻状況

	単独					
	男女計		男性		女性	
	N	%	N	%	N	%
未婚	944	41.68	564	53.16	380	31.56
配偶者あり	178	7.86	128	12.06	50	4.15
死別	696	30.73	147	13.85	549	45.60
離別	447	19.74	222	20.92	225	18.69
総計	2265	100.00	1061	100.00	1204	100.00

単独世帯は、婚姻状態を念頭におくと、単身者の概念と一致するが、単身者には同居家族が含まれる場合があり、この点で単独世帯とは異なっている。本分析にとって重要なのは、未婚者がどのような世帯構成のなかであり、また単身者・単独世帯で暮らすものがどのような婚姻状態にあるのか、という点である。図表 1 をみると、未婚者は、単身者ではあっても一人で暮らしているわけではなく、様々な世帯のなかで暮らしていることがわかる。全体としてみると、一番多いのは、高齢以外も含む世帯であり、未婚者の 6 割 (59.5%) が含まれる。この世帯は、20 歳未満の世帯員がいない成人のみの世帯で、世帯主の単独世帯ではなく、世帯主夫婦のいる世帯でもなく、複数の単身高齢者のみの世帯でもない、多様な属性を含む世帯であり、「生活と支え合い調査」の世帯タイプのなかでは、全体の 34.6% を占めるもっとも多い世帯である。未婚者の多くはこのような世帯で暮らしている。ついで未婚者が暮らしている世帯で多いのは、単独世帯である。未婚者全体の 24.1% を単独世帯が占め、未婚の 4 人に 1 人が単独世帯に暮らしていることになる。

この傾向を男女に違いに注目してみると、高齢者以外も含めた多様な属性の世帯に男女とも 6 割弱が暮らしていることがわかる。ただし、単身者で単独世帯に暮らしているものは、男性では 25.9% なのに対して、女性では 21.9% と 4 ポイントほど差があるが、性別間に顕著な差異があるとはいえない。

また、単独世帯のみを取り出して、婚姻状態を確認すると (図表 2)、単独世帯の内訳は、男女計の場合には、未婚者 41.7%、死別が 30.7%、離別が 19.7% いる。この傾向は、男女では明らかにことなり、男性の場合には未婚者が 53.2% を占め、女性の 31.6% と比べて 20 ポイント以上も多い。女性の単独世帯でもっとも多いのは、死別で 45.6% を占める。

これらの結果から、未婚者と単独世帯との間には、概念的な近さとはことなり、実態には大きな差異があり、これらを同様の概念あるいは近い概念として捉えることは実態を見誤ることになることがわかる。近年増加している晩婚化・未婚化によってもたされる単身化と、ひとりの世帯員で暮らすこととは大きな齟齬がある。とくに女性の単独世帯には、死別後にひとりで暮らす女性が半数に満たないとはいえ多数おり、年齢が高いと思われるのに対して、男性の単独世帯には、未婚者が半数以上を占めるという意味で異なっているのである。

そこで図表3では、婚姻状態と世帯構成を考慮しながら、これらおかれた状況によって誰が生活費用を担っているのかを確認しておきたい。

図表3は、婚姻状態と生活費用の担い手の関係を確認したものである。未婚者のなかでは誰が生活費用を担っているのだろうか。もっとも多いのは本人であり、45.0%を占めている。若い世代の未婚者は、父のみが12.4%、母のみが4.5%、父母のみが8.6%となっており、親世代が担っている割合は、25.4%を占めており、未婚者の4人に1人は親が負担している。本人を含めた父・母の組み合わせが16.2%もあり、親の影響はさらに大きくなる。部分的な負担を含めると40%以上がなんらかの形で生活費用を親に担ってもらっているのである。未婚者の72.1%が39歳以下のため、晩婚化は親からの経済的な自立の遅れとも重なっていると考えられる。

この結果を男女別に見比べてみると、未婚者本人が生活費用を担っている割合は、男性の場合は48.1%、女性は41.1%ととなり、7ポイントほど未婚男性の方が自分で生活費用を負担している。親が生活費用を担っている割合は、父のみ、母のみ、父母のみの3つの合計で、男性の場合は23.3%、女性の場合は28.0%であるが、本人を含めた父・母の組み合わせを加えると、それぞれ38.5%と45.5%となり、男女の差は7ポイントまで拡大し、単身者は同居に加えて男性よりも女性の方が生活費用を親に担ってもらっているといえる。

図表3 婚姻状態別の生活費用の担い手

		生活費用の担い手											
		本人	配偶者	両方	父のみ	母のみ	父母のみ	本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ	祖父母、本人、配偶者の組み合わせ	公的支援	その他*2	無回	計
婚姻状態	(男女計)												
未婚	N	1,822	3	7	501	182	348	657	61	83	211	180	4,055
	%	44.93	0.07	0.17	12.36	4.49	8.58	16.20	1.50	2.05	5.20	4.44	100.00
配偶者あり	N	4,693	3,478	2,656	27	9	9	197	21	299	879	401	12,669
	%	37.04	27.45	20.96	0.21	0.07	0.07	1.55	0.17	2.36	6.94	3.17	100.00
死別	N	840	3	7	3	2	1	11	0	104	476	116	1,563
	%	53.74	0.19	0.45	0.19	0.13	0.06	0.70	0.00	6.65	30.45	7.42	100.00
離別	N	716	1	1	21	12	8	52	3	67	179	58	1,118
	%	64.04	0.09	0.09	1.88	1.07	0.72	4.65	0.27	5.99	16.01	5.19	100.00
Total	N	8,071	3,485	2,671	552	205	366	917	85	553	1,745	755	19,405
	%	41.59	17.96	13.76	2.84	1.06	1.89	4.73	0.44	2.85	8.99	3.89	100.00
		生活費用の担い手											
		本人	配偶者	両方	父のみ	母のみ	父母のみ	本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ	祖父母、本人、配偶者の組み合わせ	公的支援	その他*2	無回	計
婚姻状態	(男性計)												
未婚	N	1,074	0	2	257	102	162	339	34	51	113	101	2,235
	%	48.05	0.00	0.09	11.50	4.56	7.25	15.17	1.52	2.28	5.06	4.52	100.00
配偶者あり	N	3,991	346	1,119	10	3	4	90	5	159	471	187	6,395
	%	62.51	5.42	17.53	0.16	0.05	0.06	1.41	0.08	2.49	7.38	2.93	100.00
死別	N	184	0	1	0	0	1	4	0	14	74	17	295
	%	62.37	0.00	0.34	0.00	0.00	0.34	1.36	0.00	4.75	25.08	5.76	100.00
離別	N	277	0	1	6	6	5	23	1	27	22	22	390
	%	71.03	0.00	0.26	1.54	1.54	1.28	5.90	0.26	6.92	5.64	5.64	100.00
計	N	5,526	346	1,123	273	111	172	456	40	251	680	327	9,305
	%	59.39	3.72	12.07	2.93	1.19	1.85	4.90	0.43	2.70	7.31	3.51	100.00
		生活費用の担い手											
		本人	配偶者	両方	父のみ	母のみ	父母のみ	本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ	祖父母、本人、配偶者の組み合わせ	公的支援	その他*2	無回	計
婚姻状態	(女性計)												
未婚	N	748	3	5	244	80	186	318	27	32	98	79	1,820
	%	41.10	0.16	0.27	13.41	4.40	10.22	17.47	1.48	1.76	5.38	4.34	100.00
配偶者あり	N	702	3,132	1,537	17	6	5	107	16	140	408	214	6,284
	%	11.17	49.84	24.46	0.27	0.10	0.08	1.70	0.25	2.23	6.49	3.41	100.00
死別	N	656	3	6	3	2	0	7	0	90	402	99	1,268
	%	51.74	0.24	0.47	0.24	0.16	0.00	0.55	0.00	7.10	31.70	7.81	100.00
離別	N	439	1	0	15	6	3	29	2	40	157	36	728
	%	60.30	0.14	0.00	2.06	0.82	0.41	3.98	0.27	5.49	21.57	4.95	100.00
Total	N	2,545	3,139	1,548	279	94	194	461	45	302	1,065	428	10,100
	%	25.20	31.08	15.33	2.76	0.93	1.92	4.56	0.45	2.99	10.54	4.24	100.00

図表4 世帯構成と生活費用の担い手

		生活費用の担い手											
世帯構成 (男女計)		本人	配偶者	両方	父のみ	母のみ	父母のみ	本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ	祖父母、本人、配偶者、父、母の組み合わせ	公的支援との組み合わせ	その他*2	無回	計
		単独	N	1,713	19	26	21	11	26	28	8	172	109
	%	74.09	0.82	1.12	0.91	0.48	1.12	1.21	0.35	7.44	4.71	7.74	100.00
夫婦	N	1,792	1,314	973	7	4	0	12	2	191	109	203	4,607
	%	38.90	28.52	21.12	0.15	0.09	0.00	0.26	0.04	4.15	2.37	4.41	100.00
高齢のみ	N	115	34	29	0	1	0	20	0	10	51	20	280
	%	41.07	12.14	10.36	0.00	0.36	0.00	7.14	0.00	3.57	18.21	7.14	100.00
高齢以外含む	N	2,530	842	618	335	141	174	618	43	119	1,000	309	6,729
	%	37.60	12.51	9.18	4.98	2.10	2.59	9.18	0.64	1.77	14.86	4.59	100.00
二親	N	1,606	1,212	963	150	18	138	205	21	31	393	178	4,915
	%	32.68	24.66	19.59	3.05	0.37	2.81	4.17	0.43	0.63	8.00	3.62	100.00
一人親	N	154	17	14	22	31	3	11	6	25	48	15	346
	%	44.51	4.91	4.05	6.36	8.96	0.87	3.18	1.73	7.23	13.87	4.34	100.00
他有子	N	17	3	1	1	0	1	0	1	0	2	4	30
	%	56.67	10.00	3.33	3.33	0.00	3.33	0.00	3.33	0.00	6.67	13.33	100.00
計	N	7,927	3,441	2,624	536	206	342	894	81	548	1,712	908	19,219
	%	41.25	17.90	13.65	2.79	1.07	1.78	4.65	0.42	2.85	8.91	4.72	100.00

		生活費用の担い手											
世帯構成 (男性計)		本人	配偶者	両方	父のみ	母のみ	父母のみ	本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ	祖父母、本人、配偶者、父、母の組み合わせ	公的支援との組み合わせ	その他*2	無回	計
		単独	N	824	3	10	10	6	15	13	4	75	41
	%	76.37	0.28	0.93	0.93	0.56	1.39	1.20	0.37	6.95	3.80	7.23	100.00
夫婦	N	1,503	147	431	3	1	0	8	0	100	51	94	2,338
	%	64.29	6.29	18.43	0.13	0.04	0.00	0.34	0.00	4.28	2.18	4.02	100.00
高齢のみ	N	71	3	13	0	0	0	9	0	5	9	6	116
	%	61.21	2.59	11.21	0.00	0.00	0.00	7.76	0.00	4.31	7.76	5.17	100.00
高齢以外含む	N	1,652	68	255	179	85	89	314	22	55	350	131	3,200
	%	51.63	2.13	7.97	5.59	2.66	2.78	9.81	0.69	1.72	10.94	4.09	100.00
二親	N	1,326	117	391	64	8	69	93	9	12	194	71	2,354
	%	56.33	4.97	16.61	2.72	0.34	2.93	3.95	0.38	0.51	8.24	3.02	100.00
一人親	N	31	0	2	14	14	0	4	3	2	9	6	85
	%	36.47	0.00	2.35	16.47	16.47	0.00	4.71	3.53	2.35	10.59	7.06	100.00
他有子	N	10	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	14
	%	71.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.14	0.00	7.14	14.29	100.00
計	N	5,417	338	1,102	270	114	173	441	39	249	655	388	9,186
	%	58.97	3.68	12.00	2.94	1.24	1.88	4.80	0.42	2.71	7.13	4.22	100.00

		生活費用の担い手											
世帯構成 (女性計)		本人	配偶者	両方	父のみ	母のみ	父母のみ	本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ	祖父母、本人、配偶者、父、母の組み合わせ	公的支援との組み合わせ	その他*2	無回	計
		単独	N	889	16	16	11	5	11	15	4	97	68
	%	72.10	1.30	1.30	0.89	0.41	0.89	1.22	0.32	7.87	5.52	8.19	100.00
夫婦	N	289	1,167	542	4	3	0	4	2	91	58	109	2,269
	%	12.74	51.43	23.89	0.18	0.13	0.00	0.18	0.09	4.01	2.56	4.80	100.00
高齢のみ	N	44	31	16	0	1	0	11	0	5	42	14	164
	%	26.83	18.90	9.76	0.00	0.61	0.00	6.71	0.00	3.05	25.61	8.54	100.00
高齢以外含む	N	878	774	363	156	56	85	304	21	64	650	178	3,529
	%	24.88	21.93	10.29	4.42	1.59	2.41	8.61	0.60	1.81	18.42	5.04	100.00
二親	N	280	1,095	572	86	10	69	112	12	19	199	107	2,561
	%	10.93	42.76	22.34	3.36	0.39	2.69	4.37	0.47	0.74	7.77	4.18	100.00
一人親	N	123	17	12	8	17	3	7	3	23	39	9	261
	%	47.13	6.51	4.60	3.07	6.51	1.15	2.68	1.15	8.81	14.94	3.45	100.00
他有子	N	7	3	1	1	0	1	0	0	0	1	2	16
	%	43.75	18.75	6.25	6.25	0.00	6.25	0.00	0.00	0.00	6.25	12.50	100.00
計	N	2,510	3,103	1,522	266	92	169	453	42	299	1,057	520	10,033
	%	25.02	30.93	15.17	2.65	0.92	1.68	4.52	0.42	2.98	10.54	5.18	100.00

単独世帯の生活費用を担っているのは、本人であることが74.1%であり、単独世帯になると親との関係は無くなっている。さらに祖父母まで加えた多様な組み合わせをみても、単独世帯には親・祖父母の支援はない。単独世帯の生活費用は、本人を除くと公的支援を受けつつ暮らすか(7.4%)、その他のきょうだい、その他の親戚、子どもの組み合わせを含むによるか(4.7%)であり、単独世帯では、家族の支える機能が著しく低下していることがわ

かる。本人が失業し、病気で働けなくなった場合には、すぐに困窮状態に陥る可能性がある。未婚者に比べて、単独世帯は家族のなかで支え合うことを想定しにくいと考えられる。この傾向は、男女ともにみられている。単独世帯の生活費用は、本人自身が担うのか、公的支援との組み合わせるのか、きょうだい、やや遠い親戚や子どもによって担ってもらっている。

3.2 仕事の在り方と生活費用の担い手

ここでは、未婚者のみを取り出して、就業状態と働き方それぞれが生活費用の担い手とどのように関わっているかを確認する。

仕事をしている未婚者の生活費用は誰が担っているのだろうか。もちろん、仕事によって収入を得ることができるので、本人が担うのは想定しやすい。問題は、働いて仕事をしていれば、みな自分の生活費用を自分自身で負担できるかどうかである。自分で生活費用を負担できるのであれば、少なくとも親から経済的に自立していることになる。図表5はそのことについて確認したものである。仕事をしている未婚者のうち、本人が生活費用を担っていると回答したのは、56.7%である。男性の場合はやや高く60.2%、女性の場合は52.4%となっている。

たほうで、未婚者のなかには、一度も仕事をしたことのない人が、(692/3939人=)17.6%おり、このうち77.5%が父のみ、母のみ、父母のみと本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせで占めている。決して少なくはない未婚者のなかで一度も仕事をしたことがない人が親の庇護の元に生活をしており、これらの層は親の資産の相続が期待できないと、公的扶助の予備軍になる可能性がある。現在仕事をしていない(以前は働いていた)人は、本人が担い手である割合や39.0%にとどまり、親によるものは同等の37.9%となる。さらにきょうだいなどのその他も11.6%ほどいる。男性76.4%よりも女性の方がわずかに多く、79.2%におよぶ。

仕事をしているもののなかでも、働き方によって生活費用の担い手は変化するだろう。そのことを確認したのが図表6である。働き方は、役員、一般正規、一般非正規、自営業とした。本人が生活費用の担い手となるのには、働き方によってもその傾向はことなっている。役員や一般正規は本人が生活費用の担い手となる割合が6割前後と高くなっている。男女の差はそれほど大きくない(男性役員60.2%、男性一般正規61.5%、女性役員60.7%、女性正規64.4%)。自営の場合は、男女計では役員・一般正規と同じレベル(58.7%)で本人が生活費用の担い手になっているが、男女の差は大きく、男性の場合は66.9%なのに対して女性の場合は38.5%に過ぎない。このことは戦後に雇用に組み込まれたと思われる女性の家族従業者が依然として残存しているのか、あるいはいわゆるフリーで働くといった自由業のことなのかは判別できない。しかし依然として本人だけでは生活は成り立たず、父のみや親と本人などの組み合わせによって生活を支えていると考えられる。生活費用の担い手は、比較可能な収入が仕事における格差を測るのに対して、生活の支え合いの実態を確認す

ることができる。

図表5 就業状態と生活費用の担い手

就業状態 (男女計)	生活費用の担い手											
	本人	配偶者	両方	父のみ	母のみ	父母のみ	本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ	祖父母、本人、配偶者の組み合わせ	公的支援との組み合わせ	その他*2	無回	計
仕事をしてる	1,538	1	6	211	72	90	532	25	13	116	107	2,711
	56.73	0.04	0.22	7.78	2.66	3.32	19.62	0.92	0.48	4.28	3.95	100.00
一度もしたことがない	36	0	1	208	61	206	63	31	25	26	35	692
	5.20	0.00	0.14	30.06	8.82	29.77	9.10	4.48	3.61	3.76	5.06	100.00
したことがあるがいまはしていない	209	2	0	66	45	41	51	3	40	62	17	536
	38.99	0.37	0.00	12.31	8.40	7.65	9.51	0.56	7.46	11.57	3.17	100.00
計	1,783	3	7	485	178	337	646	59	78	204	159	3,939
	45.27	0.08	0.18	12.31	4.52	8.56	16.40	1.50	1.98	5.18	4.04	100.00
男性												
仕事をしてる	909		1	99	42	41	276	14	8	60	61	1,511
	60.16	0.00	0.07	6.55	2.78	2.71	18.27	0.93	0.53	3.97	4.04	100.00
一度もしたことがない	20		1	112	30	94	36	17	15	11	20	356
	5.62	0.00	0.28	31.46	8.43	26.40	10.11	4.78	4.21	3.09	5.62	100.00
したことがあるがいまはしていない	127		0	39	29	21	21	1	25	38	11	312
	40.7	0.0	0.0	12.5	9.3	6.7	6.7	0.3	8.0	12.2	3.5	100.00
計	1,056		2	250	101	156	333	32	48	109	92	2,179
	48.46	0.00	0.09	11.47	4.64	7.16	15.28	1.47	2.20	5.00	4.22	100.00
女性												
仕事をしてる	629	1	5	112	30	49	256	11	5	56	46	1,200
	52.42	0.08	0.42	9.33	2.50	4.08	21.33	0.92	0.42	4.67	3.83	100.00
一度もしたことがない	16	0	0	96	31	112	27	14	10	15	15	336
	4.76	0.00	0.00	28.57	9.23	33.33	8.04	4.17	2.98	4.46	4.46	100.00
したことがあるがいまはしていない	82	2	0	27	16	20	30	2	15	24	6	224
	36.61	0.89	0.00	12.05	7.14	8.93	13.39	0.89	6.70	10.71	2.68	100.00
計	727	3	5	235	77	181	313	27	30	95	67	1,760
	41.31	0.17	0.28	13.35	4.38	10.28	17.78	1.53	1.70	5.40	3.81	100.00

図表6 働き方と生活費用の担い手

就業状態 (男女計)	生活費用の担い手											
	本人	配偶者	両方	父のみ	母のみ	父母のみ	本人、配偶者、両方、父、母の組み合わせ	祖父母、本人、配偶者の組み合わせ	公的支援との組み合わせ	その他*2	無回	計
役員	236	0	1	31	9	14	68	4	0	18	10	391
	60.36	0.00	0.26	7.93	2.30	3.58	17.39	1.02	0.00	4.60	2.56	100.00
一般正規	771	0	1	95	21	37	244	15	3	34	32	1,253
	61.53	0.00	0.08	7.58	1.68	2.95	19.47	1.20	0.24	2.71	2.55	100.00
一般非正規	344	1	3	55	27	27	155	1	8	47	21	689
	49.93	0.15	0.44	7.98	3.92	3.92	22.50	0.15	1.16	6.82	3.05	100.00
自営	105	0	0	14	4	4	38	1	1	8	4	179
	58.66	0.00	0.00	7.82	2.23	2.23	21.23	0.56	0.56	4.47	2.23	100.00
総計	1,456	1	5	195	61	82	505	21	12	107	67	2,512
	57.96	0.04	0.20	7.76	2.43	3.26	20.10	0.84	0.48	4.26	2.67	100.00
役員	128	0	0	18	5	7	36	4	0	11	4	213
	60.09	0.00	0.00	8.45	2.35	3.29	16.90	1.88	0.00	5.16	1.88	100.00
一般正規	468	0	0	45	13	18	134	7	2	21	19	727
	64.37	0.00	0.00	6.19	1.79	2.48	18.43	0.96	0.28	2.89	2.61	100.00
一般非正規	175	0	0	22	14	11	68	0	5	19	11	325
	53.85	0.00	0.00	6.77	4.31	3.38	20.92	0.00	1.54	5.85	3.38	100.00
自営	85	0	0	8	2	3	20	0	0	6	3	127
	66.93	0.00	0.00	6.30	1.57	2.36	15.75	0.00	0.00	4.72	2.36	100.00
総計	856	0	0	93	34	39	258	11	7	57	37	1,392
	61.49	0.00	0.00	6.68	2.44	2.80	18.53	0.79	0.50	4.09	2.66	100.00
役員	108	0	1	13	4	7	32	0	0	7	6	178
	60.67	0.00	0.56	7.30	2.25	3.93	17.98	0.00	0.00	3.93	3.37	100.00
一般正規	303	0	1	50	8	19	110	8	1	13	13	526
	57.60	0.00	0.19	9.51	1.52	3.61	20.91	1.52	0.19	2.47	2.47	100.00
一般非正規	169	1	3	33	13	16	87	1	3	28	10	364
	46.43	0.27	0.82	9.07	3.57	4.40	23.90	0.27	0.82	7.69	2.75	100.00
自営	20	0	0	6	2	1	18	1	1	2	1	52
	38.46	0.00	0.00	11.54	3.85	1.92	34.62	1.92	1.92	3.85	1.92	100.00
総計	600	1	5	102	27	43	247	10	5	50	30	1,120
	53.14	0.09	0.44	9.03	2.39	3.81	21.88	0.89	0.44	4.43	2.66	99.20

4. 女性単身者本人が生活費用を担う—男性の単身者を軸として

本論文では、近年、男性単身者の社会的孤立が注目されるなか、生活費用の担い手に本人がなることについて、男性と比べて女性はどうなのか。男性の単身者が社会的孤立リスクを高めることに、女性の単身者ではどうなのか、について関心をおいてきた。このような家族機能の低下に加えて、就業状態—とくに雇用が生活保障を支えているという観点から、分析をおこなってきた。最後に生活費用の担い手が本人となることと性別と婚姻状態、雇用との関係について確認をしておこう。本人が生活費用の担い手になるか否かについて、性別と婚姻状態の影響について確認をおこなう。

図表 7 は本人のみが生活費用の担い手となるロジットモデルの推定結果を示したものである。モデル 1 は、家族機能のなかでも婚姻状態（表 1~表 3 参照）を考慮したモデルで、男性未婚者を基底とした交互作用項を想定している。すなわち、女性であることが本人のみが生活費用の担い手となることにマイナスの影響をもち、また未婚者と比較すると配偶者ありと離死別は本人のみが生活費用の担い手になりやすい。これらのことは注目されている男性単身者以上に女性単身者の社会的リスクが高いことを示唆している。他方で、女性で配偶者があると、本人が生活費用の担い手となることは難しいことを示しており、既婚女性は夫が担い手となるか、共働きするかという実態と一致した結果となっている。

モデル 2 では、出生コホートの影響を調整した結果であるが、性と婚姻状態の影響は依然強いものの、年齢（ライフコース効果）によっても左右されることが示されている。年齢ではなく教育レベルの影響を調整した結果がモデル 3 であるが、教育レベルの影響は顕著ではないものの、高卒と比べて低い学歴の中卒と専門・専修学校卒で本人が生活費用の担い手となることに影響がある。しかし大卒以上との間には影響はなく、本人のみで生活費用の担い手になるのは、高卒後の就業状態の影響である可能性が示唆されている。年齢と教育レベルを同時に投入したモデル 4 では、性の影響は依然と強いものの、婚姻状態の影響は個々の状態の単独の効果よりは性と結びついた交互作用の効果であり、またモデル 2 同様に、婚姻状態の影響は年齢との関連が強く、年齢が高くなるほど本人が生活費用の担い手となりやすく、女性と女性の婚姻状態は本人のみが生活費用の担うことに逆行していくことを示唆している。

就業状態を投入したモデル 5 とモデル 6 は、現在働いていないものを含んだ初職時の影響と、現在働いているものみの現職の影響を確認している。ポイントは、モデル 1 からモデル 4 までの結果を維持しつつも、それぞれの時点で正規職についていることと比べて、役員・非正規・自営という就業状態が、本人の生活費用の担い手となることに負の影響をもっていることである。初職時の非正規効果はモデル 6 では有意ではなくなるので、労働市場からの退出したものが分析から除外されたものの効果か、あるいは初職時の非正規から現職での正規職への移行による影響と考えられる。

図表7 本人のみで生活費用の担い手になるロジットモデルの推計結果

	モデル1	モデル2	モデル3	モデル4	モデル5	モデル6
性別ダミー (基底カテゴリ: 男性)						
1.女性ダミー	-0.2820 **	-0.1376 *	-0.2264 **	-0.1427 *	-0.2292 **	-0.2133 *
婚姻状態ダミー (基底カテゴリ: 未婚者)						
配偶者ありダミー	0.5890 **	0.0996 +	0.3642 **	0.0055	-0.1176 +	-0.3607 **
死別ダミー	0.5833 **	0.1593	0.5305 **	0.1485	0.0157	0.0421
離別ダミー	0.9745 **	0.4433 **	0.8161 **	0.4427 **	0.4893 **	0.7625 **
性と婚姻状態の交互作用						
女性・配偶者あり	-2.3025 **	-2.4665 **	-2.3342 **	-2.4129 **	-2.4435 **	-1.9978 **
女性・死別	-0.1540	-0.2919 +	-0.1746	-0.2603 +	-0.0935	-0.1035
女性・離別	-0.1966	-0.3217 *	-0.2177	-0.2804 +	-0.2968	-0.3685
年齢コホート (基底カテゴリ: 30-39歳コホート)						
20歳未満コホート		-2.8559 **		-1.4001 **	-1.1505 **	-1.3540 **
20-29歳コホート		-0.8955 **		-0.6543 **	-0.6628 **	-0.8084 **
40-49歳コホート		0.1061 +		0.1717 **	0.1672 *	0.1699 *
50-59歳コホート		0.3673 **		0.4274 **	0.3933 **	0.4557 **
60-69歳コホート		0.2598 **		0.4115 **	0.3842 **	0.8343 **
70-79歳コホート		0.1571 *		0.4061 **	0.2998 **	0.7886 **
80-89歳コホート		-0.0369		0.3034 **	0.3452 **	0.5786 +
90-105歳コホート		-0.3073 +		0.1235	0.0184	1.5361
学歴 (基底カテゴリ: 高卒)						
中卒			-0.3123 **	-0.3690 **	-0.2212 **	-0.1487
短大・高専卒			0.0501	0.0683	0.1032	0.1130
専門学校・専修学校			0.4133 **	0.4755 **	0.4613 **	0.4513 **
大学・大学院卒			0.0824	0.1385 *	0.1169 +	0.0613
初職 (基底カテゴリ: 一般雇用正規)						
役員					0.1223 *	0.1637 +
非正規					-0.1773 **	0.0553
自営					-0.3118 **	-0.2243 +
現職 (基底カテゴリ: 一般雇用正規)						
役員						-0.0694
非正規						-0.6673 **
自営						-0.4762 **
_cons	-0.0779 +	0.2617 **	0.0537	0.1075 +	0.3156 **	0.6720 **
Pseudo R2	0.1650	0.1884	0.1830	0.1934	0.2141	0.2028
Log likelihood	11001.1140	-10692.9090	-10275.3810	-10144.1240	-7885.73430	-5573.2501
N	19,405	19,405	18,414	18,414	14,613	10,086

5. 結論

本論文は、戦後の生活保障を支える仕組みとなっていた、家族と雇用の機能に焦点をおき、単身者と独居世帯との差異に注目しながら生活費用の担い手の分析をおこなった。それは、収入を用いた分析では不透明な家族の支え合いの部分を把握することが困難であるというのが理由である。その結果、従来の「男性稼ぎ主」モデルから外れた単身者と非正規における社会的リスクの可能性が浮上してきた。単身者のなかでも未婚者の生活費用の担い手が本人である割合は、男性 25.9%、女性 21.8%にすぎず、家族の支えないと生活を維持できないことがわかった。たほうで、単独世帯では本人が生活費用の担い手となる割合は、74.1%に至り（男性 76.4%、女性 72.1%）と高く、単独世帯ではなく単身者のなかに社会的リスクを抱えているものが含まれている可能性が示されたのである。

諸変数を統制したロジット分析の結果、本人が生活費用の担い手になるから否かについては、女性の方がなりにくく、また未婚者になりにくいことが明らかになった。さらに、就業の影響について確認したところ、正規に対して非正規で本人が生活費用の担い手になり

にくいこともわかり、女性単身者の生活保障にとって現在の男性稼ぎ主モデルは、生活をしやすいわけではないことが示唆されるのである。雇用社会は、正規で働くことによって本人が生活費用の担い手となることを促す社会ということができよう。西村 (2014, 2019) では、本人 (配偶者, あるいは両方) が生活費用の担い手となることを自立と定義づけて分析を行っているが、かりにこの位置づけが社会的合意を得られるとするならば、雇用社会において均等処遇が不十分なままでは、家族機能が不足する単身女性の自立には依然として多くの課題が残っていることは間違いない。

参考図表： 本人のみで生活費用の担い手になる
ロジットモデルの推計結果
(度も働いたことがない、現在働いていない)

	モデル7	モデル8
性別ダミー (基底カテゴリ：男性)		
1.女性ダミー	-0.1744	-0.1729
婚姻状態ダミー (基底カテゴリ：未婚者)		
配偶者ありダミー	2.6922 **	0.7346 **
死別ダミー	3.4192 **	0.7366 **
離別ダミー	2.5701 **	0.5623 *
性と婚姻状態の交互作用		
女性・配偶者あり	-2.0132 **	-2.9576 **
女性・死別	-0.8332	-0.1075
女性・離別	0.0892	-0.5370 +
_cons	-2.8214 **	-0.3762 **
Pseudo R2	0.2156	0.2372
Log likelihood	-544.6837	-2517.6141
N	1,459	5,272

参考文献

- 阿部彩 (2015) 「女性のライフコースの多様性と貧困」『季刊社会保障研究』Vol. 15, No. 2, pp. 174-180
- 阿部彩 (2018) 「再考：高齢女性の貧困と人権」『学術の動向』5月号, pp. 27-29
- 安部由起子・大竹文雄 (1995) 「税制・社会保障制度とパートタイム労働者の労働供給行動」『季刊社会保障研究』Vo. 31, No. 2, pp. 120-134
- アジア女性資料センター (2016) 「女たちの21世紀【特集】女性に押し寄せる新しい貧困——「新・家制度」強化の中で」No. 87
- Esping-Andersen, Gøsta (2009), *The incomplete revolution: adapting to women's new roles*, Polity=大沢真理訳 (2011) 『平等と効率の福祉革命新しい女性の役割』岩波書店
- 藤森克彦 (2018) 「高齢単身女性と貧困」『学術の動向』5月号, pp. 10-13
- 藤森克彦 (2010) 『単身急増社会の衝撃』日本経済新聞出版社
- 藤森克彦 (2016) 「単身高齢世帯（一人暮らし高齢者）の生活と意識に関する国際比較—4か国比較—」『第8回高齢者の生活と意識国際比較調査結果』内閣府, pp. 238-247
- 藤田至孝・塩野谷祐一編 (1997) 『企業内福祉と社会保障』東京大学出版会
- 住宅・都11f整備公団 (1991) 『首都圏における単身居住者に関する研究』住宅・都市整備公団
- 北村行伸・坂本和靖 (2002) 「結婚の意思決定に関するパネル分析」一橋大学経済研究所 PIE Discussion Paper, 109
- 国立社会保障・人口問題研究所 (2018) 『日本の世帯数の将来推計（全国推計）—2015（平成27）年～2040（平成52）年—』人口問題研究資料第339号）国立社会保障・人口問題研究所
- 国立社会保障・人口問題研究所 (2019) 『生活と支え合いに関する調査 報告書』（調査研究資料第37号）国立社会保障・人口問題研究所
- 小杉礼子・宮本みち子 (2015) 『下層化する女性たち 労働と家庭からの排除と貧困』勁草書房
- 小杉礼子・鈴木晶子・野依智子・（公財）横浜市男女共同参画推進協会編著 (2017) 『シングル女性の貧困 非正規職女性の仕事・暮らしと社会的支援』明石書店
- 熊沢誠 (2000) 『女性労働と企業社会』岩波新書
- 松本真澄 (1998) 「成人未婚者の東京圏内における居住実態」『総合都市研究』第66号, pp. 79-92
- 三輪哲 (2012) 「晩婚化・非婚化のなかの単身者」『季刊家計経済研究』No. 94, pp. 31-42
- 三輪哲 (2019) 「中年単身層における生活様式と意識にみられるジェンダー差」『家族社会学研究』Vol. 31, No. 2, pp. 160-171
- 宮本太郎 (2009) 『生活保障 排除しない社会へ』岩波新書

- 永瀬伸子 (2003) 「女性と年金権の問題」『季刊・社会保障研究』Vol. 39, No. 1, pp. 83-96
- 中村隆英 (1993) 『日本経済—その成長と構造[第3版]』東京大学出版会
- 西村幸満 (2019) 「変貌する若者の自立の実態」『季刊社会保障研究』No. 49, Vol. 4, pp. 384-395
- 西村幸満 (2019) 「若者の自立とキャリアの不安定化—就職氷河期世代の初職と現在—」『社会保障研究』No. 4, Vol. 3, pp. 262-274
- 西村幸満 (2020) 「就職氷河期世代を中心とした社会関係の希薄な層の基礎分析」令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)「世帯構造の変化が社会保障に与える影響の分析研究」pp.
- 分担研究報告書
- 西村幸満 (2021) 『生活不安層のニーズと支援 シングル・ペアレント, 単身女性, 非正規就業者の実態』勁草書房
- 大橋照枝(1993) 『未婚化社会の社会学』日本放送出版会
- 大沢真理 (2007) 『現代日本の生活保障システム 座標とゆくえ』岩波書店
- 大浦明美 (「単身女性後期高齢者の日常生活上の意識—一人暮らしへの分岐点における自立と依存の巡回プロセス」『人文社会科学研究』第26号, pp. 83-95
- 斉藤雅茂 (2018) 『高齢者の社会的孤立と地域福祉 計量的アプローチによる測定・評価・予防策』明石書店
- 酒井正 (2020) 『日本のセーフティネット格差—労働市場の変容と社会保険』慶應義塾大学出版会
- 重川純子 (2004) 「デフレ下の経済生活, 家計, 借入」樋口美雄・太田清編『女性たちの平成不況 デフレで働き方・暮らしは変わったか』日本経済新聞社, pp. 169-190
- 四方理人 (2012) 「未婚女性の老後の生活不安」『季刊家計経済研究』No. 94, pp. 43-54
- 武川正吾・佐藤博樹編 (2000) 『企業保障と社会保障』東京大学出版会
- 竹中恵美子 (1994) 「変貌する経済と労働力の女性化」竹中恵美子・久場嬉子編『労働力の女性化』有斐閣, pp.
- 東京都生活文化局 (1995) 『シングル女性の生活と意識に関する調査』東京都
- 東京都生活文化局 (1995) 『シングル男性の生活と意識に関する調査』東京都
- 若林芳樹・神谷浩夫・由井義通・木下禮子・影山穂波 (2001) 「東京大都市圏における30歳代シングル女性の居住地選択—マルチメソッド・アプローチの試み—」『地理科学』Vol. 56, No. 2, pp. 65-87
- 山田桂子・細川裕子・若原圭子 (1998) 『首都圏に住む25~39歳独身者にみるひとり暮らしの生活実態と意識』CORE, no. 97, 商品科学研究所
- 山本千鶴子 (1993) 「単身生活者の動向—1980年および1990年の比較—」『人口問題研究』No. 49, Vol. 3, pp. 66-71
- 山内昌和 (2012) 「単独世帯の動向と今後の見通し」『季刊家計経済研究』No. 94, pp. 18-30

補論：単身生活と孤立

これまでのデータ分析の結果、仕事や家族の機能が個人の生活保障にとって重要であることがあらためて確認することができた。西村（2020）は、年齢の高まりとともに会話頻度ではなく、会話人数において社会関係が希薄化することを示している。ここでは、社会関係の4つの次元を丁寧に確認するために、3. データと変数の手続きをとって作表を実施した。図表 f-01~図表 f-62 である。社会関係の希薄化は、古くて新しいテーマであり、社会的孤立という分析系を形成しているが、学術的に明快な指標はない。そのため、数多の社会的孤立概念が生じているが、それぞれが相互参照されることは少ない。それは指標の作成手続きがブラックボックス化しているためである。この補論では、「生活と支え合い調査」で取り上げた変数に基づいて、社会的孤立指標の作成に向けた手続きを作表し公開することにした。今後の議論へ資することが目的である。

付表 (社会的孤立の確認)

図表 f-01 性別・年齢別の会話関係

(%)	全数		男性		女性	
	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者
18-19歳	0.9	1.9	1.4	1.9	0.0	2.0
20-29歳	4.9	9.0	4.6	8.9	5.5	9.1
30-39歳	6.8	13.4	7.1	14.0	6.2	12.8
40-49歳	12.0	17.3	13.6	17.8	8.9	16.8
50-59歳	14.1	16.0	14.6	15.7	13.0	16.2
60-69歳	27.2	20.4	25.0	20.5	31.5	20.2
70-79歳	22.3	14.5	23.9	14.5	19.2	14.6
80歳以上	11.7	7.6	9.6	6.7	15.8	8.4
N数	426	18,921	280	8,943	146	9,978

図表 f-02 性別・年齢別の広義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性	
	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)
18-19歳	3.0	1.4	2.6	1.5	3.3	1.3
20-29歳	14.2	8.1	14.0	7.9	14.3	8.3
30-39歳	11.0	15.0	12.2	15.2	9.8	14.7
40-49歳	18.9	19.2	19.1	18.9	18.7	19.4
50-59歳	17.1	17.2	16.3	17.1	18.0	17.3
60-69歳	20.0	20.2	20.6	20.4	19.4	20.0
70-79歳	10.2	12.9	10.9	13.5	9.4	12.3
80歳以上	5.6	6.1	4.2	5.5	7.1	6.6
N数	2,188	13,207	1,135	6,341	1,053	6,866

図表 f-03 性別・年齢別の狭義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性	
	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)
18-19歳	0.7	1.6	1.0	1.7	0.0	1.6
20-29歳	8.6	9.0	7.3	8.9	11.7	9.1
30-39歳	11.5	14.4	14.6	14.8	3.9	14.1
40-49歳	17.5	19.2	17.7	19.0	16.9	19.4
50-59歳	16.0	17.2	15.1	17.1	18.2	17.4
60-69歳	22.7	20.1	24.0	20.3	19.5	20.0
70-79歳	16.0	12.4	15.6	13.0	16.9	11.9
80歳以上	7.1	6.0	4.7	5.3	13.0	6.6
N数	269	15,126	192	7,284	77	7,842

図表 f-04 性別・年齢別の提供的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性	
	提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者	提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者	提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者
18-19歳	0.7	1.9	1.1	1.8	0.0	2.0
20-29歳	7.6	10.4	8.6	10.0	5.7	10.8
30-39歳	10.7	15.8	12.9	16.0	6.4	15.7
40-49歳	14.8	20.7	17.5	20.4	9.3	21.0
50-59歳	10.5	18.2	12.5	17.8	6.4	18.6
60-69歳	18.8	19.2	20.7	19.9	15.0	18.5
70-79歳	17.9	9.5	17.1	10.3	19.3	8.7
80歳以上	19.1	4.3	9.6	3.8	37.9	4.7
N数	420	12,567	280	6,101	140	6,466

図表 f-05 性別・年齢別の広義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性	
	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)
18-19歳	3.1	1.4	2.9	1.3	3.4	1.5
20-29歳	14.2	7.5	13.4	7.3	15.1	7.6
30-39歳	15.7	13.9	16.6	14.0	14.7	13.9
40-49歳	17.1	19.5	19.7	18.6	14.2	20.2
50-59歳	15.4	17.8	15.2	17.4	15.7	18.2
60-69歳	15.6	22.1	16.0	22.9	15.2	21.4
70-79歳	10.0	13.0	9.8	14.0	10.3	12.1
80歳以上	8.8	4.9	6.5	4.5	11.4	5.2
N数	5,723	11,106	2,964	5,191	2,759	5,915

図表 f-06 性別・年齢別の狭義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性	
	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)
18-19歳	1.4	2.0	0.6	2.0	2.0	2.1
20-29歳	8.7	9.8	7.0	9.7	10.1	10.0
30-39歳	16.1	14.4	15.3	14.9	16.8	14.0
40-49歳	23.1	18.3	23.9	18.7	22.4	18.0
50-59歳	19.3	16.9	19.3	16.4	19.2	17.3
60-69歳	17.8	20.0	18.3	20.5	17.4	19.6
70-79歳	8.1	12.2	9.3	12.6	7.1	11.8
80歳以上	5.6	6.3	6.4	5.1	5.0	7.3
N数	1,106	15,723	503	7,652	603	8,071

図表 f-07 世帯構成別の会話関係

(%)		全数		男性		女性	
		会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者
子どもがない世帯							
	単独世帯						
	単独高齢男性世帯	13.2	1.7	19.9	3.6		
	単独高齢女性世帯	9.5	3.7			39.0	677.0
	単独非高齢男性世帯	13.7	3.4	20.6	7.1		
	単独非高齢女性世帯	5.1	2.5			15.2	4.8
	夫婦のみ世帯						
	夫婦ともに高齢者世帯	13.7	12.5	14.0	13.3	13.0	11.7
	夫婦の一方が高齢者世帯	0.7	2.8	0.0	3.0	2.2	2.6
	夫婦ともに非高齢者世帯	4.4	8.6	4.0	9.1	5.1	8.2
	その他世帯						
	高齢者のみ世帯	2.0	1.3	2.2	1.1	1.5	1.5
	高齢者以外も含む世帯	29.5	35.3	31.3	35.1	26.1	35.5
	小計	91.7	71.7	91.9	72.3	91.3	71.2
子どもがある世帯							
	二親世帯(三世代)	1.2	5.4	1.5	5.4	0.7	5.5
	二親世帯(二世帯)	5.4	20.9	5.2	21.3	5.8	20.5
	ひとり親世帯(三世代)	0.2	0.3	0.4	0.2	0.0	0.4
	ひとり親世帯(二世帯)	1.2	1.5	0.7	0.7	2.2	2.2
	その他有子世帯	0.2	0.2	0.4	0.1	0.0	0.2
	小計	8.3	28.3	8.1	27.7	8.7	28.8
N数		410	18,292	272	8,657	138	9,633

図表 f-08 世帯構成別の広義の受領的サポートとの関係

(%)		全数		男性		女性	
		受領的サポート 欠如者 (広義)	受領的サポート 非欠如者 (広義)	受領的サポート 欠如者 (広義)	受領的サポート 非欠如者 (広義)	受領的サポート 欠如者 (広義)	受領的サポート 非欠如者 (広義)
子どもがない世帯							
	単独世帯						
	単独高齢男性世帯	3.0	1.4	5.8	2.9		
	単独高齢女性世帯	3.6	2.6			7.6	5.0
	単独非高齢男性世帯	8.6	3.1	16.6	6.4		
	単独非高齢女性世帯	5.6	2.2			11.7	4.2
	夫婦のみ世帯						
	夫婦ともに高齢者世帯	8.7	11.3	9.3	12.2	8.1	10.5
	夫婦の一方が高齢者世帯	3.0	2.6	2.9	2.8	3.2	2.5
	夫婦ともに非高齢者世帯	14.6	8.4	14.5	8.9	14.7	7.9
	その他世帯						
	高齢者のみ世帯	1.0	1.2	0.8	1.0	1.2	1.4
	高齢者以外も含む世帯	40.3	33.6	39.3	33.2	41.4	34.0
	小計	88.5	66.4	89.1	67.4	87.9	65.5
子どもがある世帯							
	二親世帯(三世代)	2.2	6.1	2.2	6.1	2.3	6.1
	二親世帯(二世帯)	8.3	25.3	8.1	25.5	8.6	25.2
	ひとり親世帯(三世代)	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.5
	ひとり親世帯(二世帯)	0.6	1.7	0.5	0.7	0.8	2.6
	その他有子世帯	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2
	小計	11.5	33.6	11.0	32.7	12.1	34.5
N数		2,146	12,759	1,114	6,134	1,032	6,624

図表 f-09 世帯構成別の狭義の受領的サポートとの関係

(%)		全数		男性		女性	
		受領的サポート 欠如者 (狭義)	受領的サポート 非欠如者 (狭義)	受領的サポート 欠如者 (狭義)	受領的サポート 非欠如者 (狭義)	受領的サポート 欠如者 (狭義)	受領的サポート 非欠如者 (狭義)
子どもがない世帯							
	単独世帯						
	単独高齢男性世帯	10.4	1.5	14.6	3.1		
	単独高齢女性世帯	6.5	2.7			22.7	5.1
	単独非高齢男性世帯	15.4	3.7	21.6	7.6		
	単独非高齢女性世帯	2.7	2.7			9.3	5.2
	夫婦のみ世帯						
	夫婦ともに高齢者世帯	10.8	11.0	10.3	11.8	12.0	10.2
	夫婦の一方が高齢者世帯	1.5	2.7	1.6	2.8	1.3	2.6
	夫婦ともに非高齢者世帯	8.1	9.3	7.0	9.8	10.7	8.8
	その他世帯						
	高齢者のみ世帯	2.3	1.1	2.2	0.9	2.7	1.4
	高齢者以外も含む世帯	33.1	34.6	34.6	34.1	29.3	35.1
	小計	90.8	69.2	91.9	70.1	88.0	68.4
子どもがある世帯							
	二親世帯(三世代)	1.5	5.6	0.5	5.6	4.0	5.7
	二親世帯(二世帯)	6.5	23.2	6.5	23.2	6.7	23.1
	ひとり親世帯(三世代)	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.4
	ひとり親世帯(二世帯)	0.4	1.5	0.5	0.7	0.0	2.3
	その他有子世帯	0.8	0.1	0.5	0.1	1.3	0.2
	小計	9.2	30.8	8.1	29.9	12.0	31.6
N数		260	14,645	185	7,063	75	7,581

図表 f-10 世帯構成別の提供的サポートとの関係

(%)		全数		男性		女性	
		提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者
子どもがない世帯							
	単独世帯						
	単独高齢男性世帯	8.2	1.3	12.4	2.7		
	単独高齢女性世帯	7.4	2.3			21.6	4.4
	単独非高齢男性世帯	12.4	4.0	18.8	8.2		
	単独非高齢女性世帯	2.2	3.2			6.5	6.3
	夫婦のみ世帯						
	夫婦ともに高齢者世帯	9.6	9.0	9.0	9.8	10.8	8.2
	夫婦の一方が高齢者世帯	3.0	2.7	3.8	2.7	1.4	2.6
	夫婦ともに非高齢者世帯	4.0	10.3	5.3	10.6	1.4	9.9
	その他世帯						
	高齢者のみ世帯	3.5	0.9	2.6	0.8	5.0	1.1
	高齢者以外も含む世帯	38.8	34.4	36.8	34.1	42.5	34.8
	小計	88.9	68.0	88.7	68.8	89.2	67.2
子どもがある世帯							
	二親世帯(三世代)	4.2	5.4	3.0	5.5	6.5	5.4
	二親世帯(二世帯)	6.4	24.5	7.9	24.6	3.6	24.4
	ひとり親世帯(三世代)	0.0	0.4	0.0	0.2	0.0	0.5
	ひとり親世帯(二世帯)	0.3	1.7	0.0	0.8	0.7	2.5
	その他有子世帯	0.3	0.1	0.4	0.1	0.0	0.1
	小計	11.1	32.0	11.3	31.2	10.8	32.8
N数		405	12,201	266	5,933	139	6,267

図表 f-11 世帯構成別の広義の社会参加との関係

(%)		全数		男性		女性	
		社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)
子どもがない世帯							
	単独世帯						
	単独高齢男性世帯	2.4	1.4	4.7	2.9		
	単独高齢女性世帯	3.1	3.0			6.4	5.6
	単独非高齢男性世帯	6.1	2.9	11.8	6.1		
	単独非高齢女性世帯	3.3	2.5			6.9	4.6
	夫婦のみ世帯						
	夫婦ともに高齢者世帯	7.8	11.8	8.2	13.0	7.5	10.7
	夫婦の一方が高齢者世帯	2.2	3.0	2.1	3.4	2.2	2.8
	夫婦ともに非高齢者世帯	9.7	9.0	9.3	9.8	10.0	8.3
	その他世帯						
	高齢者のみ世帯	1.5	1.1	1.1	1.0	2.0	1.1
	高齢者以外も含む世帯	41.1	32.5	40.0	32.2	42.3	32.8
	小計	77.2	67.0	77.1	68.3	77.3	65.9
子どもがある世帯							
	二親世帯(三世代)	3.9	6.0	3.4	6.1	4.5	6.0
	二親世帯(二世帯)	16.9	25.0	18.2	24.7	15.5	25.2
	ひとり親世帯(三世代)	0.3	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4
	ひとり親世帯(二世帯)	1.5	1.5	0.9	0.5	2.1	2.4
	その他有子世帯	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1
	小計	22.8	33.0	22.9	31.7	22.7	34.1
N数		5,536	10,775	2,871	5,045	2,665	5,729

図表 f-12 世帯構成別の狭義の社会参加との関係

(%)		全数		男性		女性	
		社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)
子どもがない世帯							
	単独世帯						
	単独高齢男性世帯	1.7	1.7	3.7	3.6		
	単独高齢女性世帯	2.3	3.1			4.1	6.0
	単独非高齢男性世帯	3.7	4.0	8.0	8.2		
	単独非高齢女性世帯	2.9	2.8			5.3	5.4
	夫婦のみ世帯						
	夫婦ともに高齢者世帯	8.5	10.6	10.3	11.3	7.1	9.9
	夫婦の一方が高齢者世帯	2.3	2.8	2.5	3.0	2.1	2.6
	夫婦ともに非高齢者世帯	9.7	9.2	11.6	9.5	8.1	8.9
	その他世帯						
	高齢者のみ世帯	1.9	1.2	1.7	1.0	2.1	1.3
	高齢者以外も含む世帯	31.7	35.7	28.7	35.4	34.3	35.9
	小計	64.6	70.9	66.4	71.9	63.1	70.0
子どもがある世帯							
	二親世帯(三世代)	5.1	5.4	3.9	5.2	6.0	5.5
	二親世帯(二世帯)	27.6	21.9	28.7	21.9	26.7	21.8
	ひとり親世帯(三世代)	0.1	0.3	0.2	0.2	0.0	0.4
	ひとり親世帯(二世帯)	2.6	1.4	0.8	0.7	4.1	2.2
	その他有子世帯	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2
	小計	35.4	29.1	33.6	28.1	36.9	30.0
N数		1,065	15,246	485	7,431	580	7,814

図表 f-13 婚姻状態別と会話関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者
未婚	34.3	20.7	40.4	23.5	22.3	18.1	58.8	32.6	18.9	4.3
配偶者あり	39.6	66.0	41.5	69.6	36.0	62.7	27.5	60.9	47.2	72.9
死別	12.1	7.8	7.6	2.9	20.9	12.2	0.6	0.9	19.3	17.3
離別	14.0	5.6	10.6	4.0	20.9	7.0	13.1	5.6	14.6	5.6
N数	414	18,678	275	8,873	139	9,805	160	10,810	254	7,868

図表 f-14 婚姻状態別と広義の受容的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)
未婚	40.3	16.3	43.9	18.9	36.4	13.9	57.8	24.6	8.5	3.4
配偶者あり	46.2	71.5	46.9	74.9	45.5	68.4	35.9	68.6	64.9	76.1
死別	6.8	6.8	2.9	2.7	11.0	10.5	0.8	1.0	17.7	15.8
離別	6.7	5.4	6.4	3.5	7.1	7.1	5.5	5.8	8.9	4.8
N数	2,173	13,101	1,131	6,309	1,042	6,792	1,399	7,992	774	5,109

図表 f-15 婚姻状態別と狭義の受容的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)
未婚	43.7	19.3	49.7	22.0	27.8	16.8	62.8	29.1	20.3	3.7
配偶者あり	36.9	68.5	35.1	71.6	41.7	65.6	26.9	64.3	49.2	75.1
死別	7.2	6.8	4.2	2.7	15.3	10.5	0.7	1.0	15.3	16.1
離別	12.2	5.5	11.0	3.8	15.3	7.1	9.7	5.7	15.3	5.1
N数	263	15,011	191	7,249	72	7,762	145	9,246	118	5,765

図表 f-16 婚姻状態別と提供的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者
未婚	38.7	22.3	45.9	24.3	24.1	20.5	67.4	31.1	16.0	4.3
配偶者あり	35.6	66.8	39.4	69.7	27.7	64.2	24.5	62.6	44.4	75.4
死別	15.6	5.3	5.4	2.3	36.5	8.1	1.6	0.8	26.7	14.4
離別	10.1	5.5	9.3	3.8	11.7	7.2	6.5	5.4	12.9	5.8
N数	416	12,488	279	6,079	137	6,409	184	8,381	232	4,107

図表 f-17 婚姻状態別と広義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)
未婚	34.6	15.8	37.9	17.8	31.1	14.0	48.6	23.9	7.7	3.6
配偶者あり	50.7	72.4	53.2	76.2	48.1	69.0	44.6	69.8	62.5	76.3
死別	7.4	6.7	3.3	2.6	11.8	10.3	0.6	1.1	20.4	15.2
離別	7.3	5.1	5.7	3.4	9.1	6.7	6.2	5.3	9.3	4.9
N数	5,664	11,017	2,949	5,163	2,715	5,854	3,726	6,635	1,938	4,382

図表 f-18 婚姻状態別と狭義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)
未婚	18.3	22.5	18.1	25.6	18.5	19.5	24.2	33.5	5.3	4.9
配偶者あり	69.8	64.7	73.9	67.4	66.4	62.1	69.7	60.0	70.1	72.2
死別	5.7	7.0	3.6	2.8	7.4	11.0	0.9	0.9	16.1	16.8
離別	6.2	5.8	4.4	4.2	7.7	7.4	5.2	5.7	8.5	6.1
N数	1,097	15,584	502	7,610	595	7,974	756	9,605	341	5,979

図表 f-19 食料・衣料・公共料金の未払いと会話関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者
食料を買えない経路										
あった(よく・ときどき・まれに)	31.2	12.4	30.1	12.5	33.3	12.4	36.4	13.2	28.0	11.4
まったくなかった	68.8	87.6	69.9	87.5	66.7	87.6	63.6	86.8	72.0	88.6
N数	404	18,361	266	8,693	138	9,668	154	10,584	250	7,777
衣料を買えない経路										
あった(よく・ときどき・まれに)	30.5	14.1	30.2	13.8	31.1	14.4	37.9	15.4	25.9	12.3
まったくなかった	69.5	85.9	69.8	86.2	68.9	85.6	62.1	84.6	74.1	87.7
N数	400	18,346	265	8,688	135	9,658	153	10,588	247	7,758
公共料金等の未払い										
あった(※)	16.5	7.6	15.6	7.9	18.6	7.4	21.5	9.2	12.9	5.4
いずれもなかった	83.5	92.4	84.5	92.1	81.4	92.6	78.5	90.8	87.1	94.6
N数	351	17,046	238	8,094	113	8,952	149	10,037	202	7,009

図表 f-20 食料・衣料・公共料金の未払いと広義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)
食料を買えない経路										
あった(よく・ときどき・まれに)	13.2	12.3	13.5	12.6	12.8	12.0	12.3	13.2	14.7	10.9
まったくなかった	86.8	87.7	86.5	87.4	87.2	88.0	87.7	86.8	85.3	89.1
N数	2,132	12,871	1,108	6,192	1,024	6,679	1,370	7,827	762	5,044
衣料を買えない経路										
あった(よく・ときどき・まれに)	13.4	14.1	13.6	14.1	13.1	14.2	13.0	15.6	14.0	11.8
まったくなかった	86.6	85.9	86.4	85.9	86.9	85.8	87.0	84.4	86.0	88.2
N数	2,132	12,868	1,109	6,188	1,023	6,680	1,368	7,832	764	5,036
公共料金等の未払い										
あった(※)	7.6	7.6	8.3	7.8	6.8	7.3	8.6	9.0	5.7	5.3
いずれもなかった	92.4	92.5	91.8	92.2	93.2	92.7	91.4	91.1	94.3	94.7
N数	2,037	12,151	1,067	5,859	970	6,292	1,319	7,482	718	4,669

図表 f-21 食料・衣料・公共料金の未払いと狭義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	受領的サポート 欠如者 (狭義)	受領的サポート 非欠如者 (狭義)	受領的サポート 欠如者 (狭義)	受領的サポート 非欠如者 (狭義)	受領的サポート 欠如者 (狭義)	受領的サポート 非欠如者 (狭義)	受領的サポート 欠如者 (狭義)	受領的サポート 非欠如者 (狭義)	受領的サポート 欠如者 (狭義)	受領的サポート 非欠如者 (狭義)
食料を買えない経験										
あった(よく・ときどき・まれに)	35.0	12.0	33.5	12.2	38.7	11.9	28.3	12.8	42.9	10.8
まったくなかった	65.0	88.0	66.5	87.8	61.3	88.1	71.7	87.2	57.1	89.2
N数	257	14,746	182	7,118	75	7,628	138	9,059	119	5,687
衣料を買えない経験										
あった(よく・ときどき・まれに)	33.9	13.7	33.2	13.5	35.6	13.8	28.7	15.0	39.8	11.5
まったくなかった	66.1	86.3	66.9	86.5	64.4	86.2	71.3	85.0	60.2	88.5
N数	254	14,746	181	7,116	73	7,630	136	9,064	118	5,682
公共料金等の未払い										
あった(※)	20.1	7.3	18.2	7.6	24.6	7.1	18.1	8.8	22.6	5.0
いづれもなかった	79.9	92.7	81.8	92.4	75.4	92.9	82.0	91.2	77.4	95.0
N数	239	13,949	170	6,756	69	7,193	133	8,668	106	5,281

図表 f-22 食料・衣料・公共料金の未払いと提供的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者	提供的サポート 欠如者	提供的サポート 非欠如者
食料を買えない経験										
あった(よく・ときどき・まれに)	22.9	11.1	24.1	10.9	20.7	11.3	20.7	12.0	24.6	9.3
まったくなかった	77.1	88.9	76.0	89.1	79.3	88.7	79.3	88.0	75.4	90.7
N数	402	12,262	262	5,966	140	6,296	174	8,212	228	4,050
衣料を買えない経験										
あった(よく・ときどき・まれに)	20.8	12.9	21.5	12.4	19.4	13.3	20.2	14.2	21.2	10.3
まったくなかった	79.3	87.1	78.5	87.6	80.6	86.7	79.8	85.8	78.9	89.7
N数	400	12,263	261	5,964	139	6,299	173	8,213	227	4,050
公共料金等の未払い										
あった(※)	12.8	7.1	13.1	7.3	12.3	7.0	13.1	8.5	12.6	4.3
いづれもなかった	87.2	92.9	86.9	92.8	87.7	93.0	86.9	91.5	87.4	95.7
N数	366	11,687	236	5,695	130	5,992	160	7,863	206	3,824

図表 f-23 食料・衣料・公共料金の未払いと広義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)
食料を買えない経験										
あった(よく・ときどき・まれに)	10.5	16.8	10.4	17.1	10.6	16.5	10.6	16.5	9.0	17.8
まったくなかった	89.5	83.2	89.6	82.9	89.4	83.5	89.4	83.5	91.1	82.2
N数	10,853	5,549	5,089	2,864	5,764	2,685	5,764	2,685	4,346	1,916
衣料を買えない経験										
あった(よく・ときどき・まれに)	12.0	18.3	11.7	18.0	12.3	18.6	13.6	18.4	9.6	18.2
まったくなかった	88.0	81.7	88.3	82.0	87.7	81.4	86.4	81.6	90.4	81.8
N数	10,849	5,546	5,083	2,865	5,766	2,681	6,508	3,635	4,341	1,911
公共料金等の未払い										
あった(※)	6.5	10.5	6.8	10.9	6.2	10.1	8.1	11.1	3.9	9.3
いづれもなかった	93.5	89.5	93.2	89.1	93.8	89.9	91.9	88.9	96.1	90.7
N数	10,286	5,153	4,849	2,667	5,437	2,486	6,226	3,431	4,060	1,722

図表 f-24 食料・衣料・公共料金の未払いと狭義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)
食料を買えない経験										
あった(よく・ときどき・まれに)	17.1	12.3	18.9	12.4	15.6	12.3	16.6	13.0	18.2	11.3
まったくなかった	82.9	87.7	81.1	87.6	84.4	87.8	83.5	87.1	81.8	88.7
N数	1,077	15,325	492	7,461	585	7,864	737	9,403	340	5,922
衣料を買えない経験										
あった(よく・ときどき・まれに)	17.4	13.9	19.3	13.6	15.9	14.2	17.1	15.2	18.2	11.9
まったくなかった	82.6	86.1	80.7	86.4	84.1	85.8	82.9	84.8	81.8	88.1
N数	1,078	15,317	492	7,456	586	7,861	738	9,405	340	5,912
公共料金等の未払い										
あった(※)	8.8	7.8	10.8	8.1	7.1	7.5	10.2	9.1	5.5	5.5
いづれもなかった	91.2	92.3	89.3	91.9	92.9	92.5	89.8	90.9	94.6	94.5
N数	1,015	14,424	465	7,051	550	7,373	703	8,954	312	5,470

図表 f-25 生活保護・子どもの手当と会話関係

		全数	
(%)		会話 欠如者	会話 非欠如者
生活保護			
	受けている	12.1	1.0
	受けていない	87.9	99.1
N数		404	18,270
子どもにかかわる手当			
	受けている(※)	9.4	22.5
	どれも受けていない	90.6	77.5
N数		329	16,881

図表 f-26 生活保護・子どもの手当と広義の受領的サポートとの関係

		全数	
(%)		受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)
生活保護			
	受けている	1.7	0.9
	受けていない	98.3	99.1
N数		2,132	12,805
子どもにかかわる手当			
	受けている(※)	6.0	27.1
	どれも受けていない	94.0	72.9
N数		2,009	12,084

図表 f-27 生活保護・子どもの手当と狭義の受領的サポートとの関係

		全数	
(%)		受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)
生活保護			
	受けている	6.6	0.9
	受けていない	93.4	99.1
N数		258	14,679
子どもにかかわる手当			
	受けている(※)	6.2	24.4
	どれも受けていない	93.8	75.7
N数		225	13,868

図表 f-28 生活保護・子どもの手当と提供的サポートとの関係

		全数	
(%)		提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者
生活保護			
	受けている	7.2	0.7
	受けていない	92.8	99.3
N数		402	12,203
子どもにかかわる手当			
	受けている(※)	9.0	25.0
	どれも受けていない	91.0	75.0
N数		366	11,660

図表 f-29 生活保護・子どもの手当と広義の社会参加との関係

		全数	
(%)		社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)
生活保護			
	受けている	2.3	0.6
	受けていない	97.7	99.4
N数		5,501	10,808
子どもにかかわる手当			
	受けている(※)	16.1	26.7
	どれも受けていない	83.9	73.3
N数		5,093	10,221

図表 f-30 生活保護・子どもの手当と狭義の社会参加との関係

(%)	全数	
	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)
生活保護		
受けている	1.1	1.2
受けていない	98.9	98.9
N数	1,070	15,239
子どもにかかわる手当		
受けている(※)	29.0	22.8
どれも受けていない	71.0	77.2
N数	996	14,318

図表 f-31 健康状態と会話関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者
よい	11.8	23.8	13.3	24.7	9.0	23.1	17.1	32.7	8.5	11.8
まあよい	14.0	22.7	16.9	22.8	8.3	22.6	14.6	24.4	13.5	20.3
ふつう	35.9	37.1	34.9	36.6	37.9	37.5	36.6	33.4	35.5	42.0
あまりよくない	25.1	13.9	23.4	13.5	28.3	14.2	19.5	8.1	28.6	21.6
よくない	13.2	2.6	11.5	2.5	16.6	2.7	12.2	1.3	13.9	4.4
N数	423	18,872	278	8,927	145	9,945	164	10,867	259	8,005

図表 f-32 健康状態と広義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)	受領的 サポート 欠如者 (広義)	受領的 サポート 非欠如者 (広義)
よい	25.3	24.4	27.0	24.8	23.5	24.0	32.4	32.4	12.6	11.9
まあよい	22.9	23.6	22.4	23.7	23.4	23.5	23.6	25.2	21.6	21.1
ふつう	34.2	36.7	34.6	36.2	33.8	37.1	31.5	33.2	38.9	42.0
あまりよくない	14.5	12.9	13.2	13.0	15.9	12.8	10.4	8.0	21.8	20.7
よくない	3.2	2.4	2.8	2.3	3.5	2.6	2.1	1.3	5.1	4.3
N数	2,186	13,181	1,134	6,332	1,052	6,849	1,402	8,025	784	5,156

図表 f-33 健康状態と狭義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)	受領的 サポート 欠如者 (狭義)	受領的 サポート 非欠如者 (狭義)
よい	14.9	24.7	15.6	25.3	13.0	24.1	21.2	32.6	7.3	12.1
まあよい	13.0	23.7	12.0	23.8	15.6	23.6	13.7	25.1	12.2	21.4
ふつう	40.2	36.2	41.7	35.8	36.4	36.6	41.1	32.9	39.0	41.6
あまりよくない	21.6	13.0	21.9	12.8	20.8	13.2	19.9	8.1	23.6	20.8
よくない	10.4	2.4	8.9	2.2	14.3	2.6	4.1	1.3	17.9	4.1
N数	269	15,098	192	7,274	77	7,824	146	9,281	123	5,817

図表 f-34 健康状態と提供的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者	提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者	提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者	提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者	提供的 サポート 欠如者	提供的 サポート 非欠如者
よい	14.3	26.3	19.6	26.5	3.6	26.1	23.7	33.1	6.9	12.5
まあよい	16.5	24.1	18.2	24.0	13.0	24.2	19.4	25.3	14.2	21.7
ふつう	33.4	35.9	34.6	35.9	30.9	36.0	38.7	32.5	29.2	43.0
あまりよくない	25.3	11.6	20.4	11.7	35.3	11.6	13.4	7.9	34.8	19.3
よくない	10.5	2.0	7.1	1.9	17.3	2.1	4.8	1.3	15.0	3.4
N数	419	12,550	280	6,093	139	6,457	186	8,419	233	4,131

図表 f-35 健康状態と広義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)	社会参加 欠如者 (広義)	社会参加 非欠如者 (広義)
よい	22.5	25.8	23.4	26.4	21.6	25.3	29.7	34.4	8.8	12.8
まあよい	19.0	24.6	19.7	24.5	18.3	24.7	21.0	26.1	15.3	22.2
ふつう	36.7	36.3	37.1	35.7	36.3	36.8	36.4	31.5	37.5	43.6
あまりよくない	16.9	11.6	15.6	11.8	18.2	11.5	10.5	7.0	29.0	18.6
よくない	4.8	1.7	4.2	1.7	5.5	1.7	2.4	1.0	9.5	2.8
N数	5,708	11,087	2,958	5,184	2,750	5,903	3,747	6,666	1,961	4,421

図表 f-36 健康状態と狭義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)	社会参加 欠如者 (狭義)	社会参加 非欠如者 (狭義)
よい	24.1	24.7	27.0	25.2	21.7	24.3	30.8	32.9	9.7	11.7
まあよい	26.3	22.4	24.7	22.6	27.7	22.3	28.0	24.0	22.6	19.9
ふつう	33.3	36.7	31.2	36.6	35.0	36.8	32.0	33.4	36.1	42.0
あまりよくない	12.8	13.5	13.9	13.1	11.8	13.8	8.3	8.3	22.4	21.8
よくない	3.5	2.7	3.2	2.5	3.8	2.8	0.9	1.5	9.2	4.6
N数	1,106	15,689	503	7,639	603	8,050	757	9,656	349	6,033

図表 f-37 心の状態と会話関係 (K6 スコアの計算)

(%)		全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
		会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者	会話 欠如者	会話 非欠如者
(1) 神経 過敏	いつも	11.6	4.6	10.1	3.9	14.4	5.3	16.2	5.1	8.6	4.0
	たいてい	9.1	6.8	10.1	6.3	7.2	7.3	12.4	8.2	6.9	4.9
	ときどき	34.0	30.7	30.0	29.3	41.7	32.1	31.7	31.2	35.5	30.1
	少しだけ	20.9	26.8	22.5	26.7	18.0	26.9	16.8	23.2	23.7	31.7
	まったくない	24.4	31.1	27.3	33.9	18.7	28.5	23.0	32.4	25.3	29.3
	N数	406	18,743	267	8,865	139	9,878	161	10,816	245	7,927
(2) 絶望 的	いつも	10.8	2.3	9.7	2.0	12.9	2.5	15.3	2.5	7.7	1.9
	たいてい	7.1	3.2	6.7	3.1	7.9	3.3	11.0	4.2	4.5	1.8
	ときどき	23.2	13.8	22.7	12.9	24.3	14.6	25.2	14.5	22.0	12.9
	少しだけ	24.2	22.5	22.7	21.7	27.1	23.2	19.6	20.9	27.2	24.6
	まったくない	34.7	58.3	38.3	60.2	27.9	56.5	28.8	57.9	38.6	58.8
	N数	409	18,727	269	8,862	140	9,865	163	10,813	246	7,914
(3) 落ち 着かない	いつも	7.8	1.6	6.7	1.4	10.1	1.8	9.3	1.8	6.9	1.3
	たいてい	8.1	3.0	7.8	2.8	8.6	3.2	13.6	3.9	4.5	1.8
	ときどき	23.7	15.3	24.4	14.5	22.3	16.0	28.4	16.9	20.7	13.3
	少しだけ	23.2	28.1	23.3	27.5	23.0	28.5	21.0	26.2	24.7	30.6
	まったくない	37.2	52.0	37.8	53.7	36.0	50.5	27.8	51.2	43.3	53.1
	N数	409	18,698	270	8,842	139	9,856	162	10,804	247	7,894
(4) 気が 晴れない	いつも	10.0	2.2	10.0	2.0	10.1	2.4	14.8	2.4	6.9	1.8
	たいてい	8.6	3.6	7.4	3.4	10.8	3.8	14.2	4.7	4.9	2.1
	ときどき	27.9	16.6	27.4	14.6	28.8	18.4	28.4	17.8	27.5	14.9
	少しだけ	25.7	30.2	23.3	29.3	30.2	31.0	21.6	28.3	28.3	32.8
	まったくない	27.9	47.4	31.9	50.7	20.1	44.4	21.0	46.7	32.4	48.4
	N数	409	18,724	270	8,865	139	9,859	162	10,803	247	7,921
(5) 面倒 くさい	いつも	14.7	4.0	14.1	3.8	15.7	4.2	19.1	4.7	11.7	3.0
	たいてい	13.5	6.2	14.1	5.6	12.1	6.7	17.9	7.6	10.5	4.3
	ときどき	27.6	23.6	26.8	21.4	29.3	25.5	27.2	24.6	27.9	22.1
	少しだけ	24.7	34.5	23.4	33.6	27.1	35.4	21.6	31.8	26.7	38.3
	まったくない	19.6	31.8	21.6	35.6	15.7	28.3	14.2	31.3	23.1	32.4
	N数	409	18,751	269	8,868	140	9,883	162	10,811	247	7,940
(6) 価値 のない人 間	いつも	14.0	2.1	14.6	1.9	12.9	2.2	18.5	2.5	11.0	1.5
	たいてい	7.8	2.4	9.7	2.3	4.3	2.5	13.6	3.1	4.1	1.5
	ときどき	20.6	10.9	18.7	10.3	24.3	11.5	23.5	11.7	18.7	9.9
	少しだけ	24.3	19.9	22.0	18.7	28.6	21.0	17.9	19.4	28.5	20.6
	まったくない	33.3	64.7	35.1	66.8	30.0	62.7	26.5	63.3	37.8	66.5
	N数	408	18,717	268	8,857	140	9,860	162	10,807	246	7,910
K6スコア	陰性(0~4点)	11.2	25.0	13.1	29.0	7.6	21.4	9.9	25.6	12.2	24.1
	軽度(5~8点)	29.5	38.5	29.0	37.5	30.5	39.5	23.9	35.8	33.5	42.6
	中等度(9~12点)	29.5	23.8	28.1	22.3	32.2	25.2	24.7	24.0	33.0	23.6
	重度(13~24点)	29.8	12.7	29.9	11.3	29.7	13.9	41.6	14.6	21.3	9.8
	N数	339	13,475	221	6,355	118	7,120	142	8,100	197	5,375

図表 f-38 心の状態と広義の受領的サポートとの関係 (K6 スコアの計算)

(%)		全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
		受領的サポート 欠知者 (広義)	受領的サポート 非欠知者 (広義)	受領的サポート 欠知者 (広義)	受領的サポート 非欠知者 (広義)	受領的サポート 欠知者 (広義)	受領的サポート 非欠知者 (広義)	受領的サポート 欠知者 (広義)	受領的サポート 非欠知者 (広義)	受領的サポート 欠知者 (広義)	受領的サポート 非欠知者 (広義)
(1) 神経過敏	いつも	4.6	4.6	3.7	4.1	5.6	5.1	5.1	5.0	3.8	4.0
	たいてい	6.9	7.1	6.8	6.5	7.0	7.6	8.2	8.4	4.5	5.1
	ときどき	28.8	31.5	27.9	30.0	29.7	32.9	31.5	31.5	23.9	31.5
	少しだけ	25.8	26.6	23.8	26.8	28.0	26.4	21.5	23.4	33.6	31.6
	まったくくない	33.9	30.2	37.8	32.6	29.7	28.0	33.7	31.7	34.2	27.8
	N数	2,177	13,139	1,130	6,312	1,047	6,827	1,396	8,003	781	5,136
(2) 絶望的	いつも	3.4	2.2	3.2	2.1	3.5	2.3	3.7	2.5	2.7	1.8
	たいてい	4.9	3.1	5.1	2.9	4.7	3.2	6.2	4.0	2.7	1.7
	ときどき	16.2	13.8	15.2	13.2	17.3	14.4	18.1	14.2	12.8	13.2
	少しだけ	20.9	22.2	20.2	21.7	21.7	22.7	20.4	20.7	21.9	24.5
	まったくくない	54.6	58.7	56.3	60.1	52.8	57.4	51.7	58.6	59.9	58.9
	N数	2,178	13,137	1,132	6,310	1,046	6,827	1,398	8,005	780	5,132
(3) 落ち着かない	いつも	2.4	1.5	2.4	1.4	2.4	1.6	2.6	1.7	2.1	1.1
	たいてい	3.7	3.2	3.6	3.1	3.8	3.3	4.5	4.0	2.3	1.9
	ときどき	17.6	15.4	16.6	14.8	18.6	16.0	19.8	16.7	13.6	13.5
	少しだけ	25.0	28.5	23.9	28.5	26.2	28.4	24.1	26.5	26.7	31.5
	まったくくない	51.3	51.5	53.5	52.3	49.0	50.7	49.1	51.1	55.3	52.1
	N数	2,176	13,123	1,129	6,297	1,047	6,826	1,397	7,994	779	5,129
(4) 気が晴れない	いつも	3.2	2.1	3.2	1.9	3.2	2.3	3.7	2.4	2.2	1.6
	たいてい	5.1	3.7	4.7	3.5	5.6	3.8	6.5	4.5	2.6	2.4
	ときどき	17.8	16.8	16.1	15.2	19.8	18.2	19.8	17.9	14.3	15.2
	少しだけ	27.8	30.5	26.1	30.1	29.7	30.8	27.3	28.7	28.8	33.3
	まったくくない	46.1	46.9	50.0	49.2	41.8	44.9	42.6	46.5	52.3	47.6
	N数	2,175	13,134	1,132	6,309	1,043	6,825	1,396	7,997	779	5,137
(5) 面倒くさい	いつも	6.3	3.8	6.3	3.6	6.3	4.0	6.8	4.6	5.4	2.7
	たいてい	7.9	6.3	6.3	5.9	9.6	6.6	10.2	7.3	3.7	4.7
	ときどき	24.2	23.8	22.1	21.8	26.5	25.6	26.3	24.6	20.5	22.5
	少しだけ	30.9	35.0	31.3	34.0	30.5	36.0	27.6	32.9	36.8	38.3
	まったくくない	30.8	31.1	34.1	34.7	27.2	27.7	29.2	30.6	33.6	31.9
	N数	2,175	13,145	1,129	6,311	1,046	6,834	1,398	8,002	777	5,143
(6) 価値のない人間	いつも	4.6	1.9	5.0	1.7	4.1	2.0	4.9	2.3	4.1	1.2
	たいてい	4.0	2.4	4.1	2.4	3.9	2.5	5.2	3.0	1.8	1.6
	ときどき	13.0	10.8	13.2	10.3	12.8	11.2	14.7	11.4	10.0	9.7
	少しだけ	18.4	20.2	16.2	19.2	20.8	21.1	19.3	19.6	16.7	21.2
	まったくくない	60.0	64.7	61.6	66.3	58.4	63.3	56.0	63.7	67.4	66.3
	N数	2,177	13,134	1,132	6,307	1,045	6,827	1,399	7,998	778	5,136
K6スコア	陰性(0~4点)	24.9	24.1	28.6	27.6	20.9	20.8	24.5	24.8	25.9	22.8
	軽度(5~8点)	34.1	39.2	33.1	38.2	35.2	40.2	32.2	36.7	38.5	43.5
	中等度(9~12点)	25.2	23.9	23.8	22.6	26.7	25.1	25.6	24.0	24.3	23.7
	重度(13~24点)	15.8	12.8	14.5	11.6	17.2	13.9	17.8	14.5	11.3	9.9
	N数	1,585	9,520	821	4,584	764	4,936	1,091	5,965	494	3,555

図表 f-39 心の状態と狭義の受領的サポートとの関係 (K6 スコアの計算)

(%)		全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
		受領的サポート 欠知者 (狭義)	受領的サポート 非欠知者 (狭義)	受領的サポート 欠知者 (狭義)	受領的サポート 非欠知者 (狭義)	受領的サポート 欠知者 (狭義)	受領的サポート 非欠知者 (狭義)	受領的サポート 欠知者 (狭義)	受領的サポート 非欠知者 (狭義)	受領的サポート 欠知者 (狭義)	受領的サポート 非欠知者 (狭義)
(1) 神経過敏	いつも	5.7	4.6	4.8	4.0	7.9	5.2	5.6	5.0	5.7	4.0
	たいてい	9.8	7.0	9.0	6.5	11.8	7.5	14.7	8.3	4.1	5.0
	ときどき	30.9	31.1	28.6	29.7	36.8	32.4	30.1	31.5	32.0	30.5
	少しだけ	25.3	26.5	27.0	26.3	21.1	26.7	21.7	23.1	29.5	31.9
	まったくくない	28.3	30.8	30.7	33.5	22.4	28.2	28.0	32.1	28.7	28.6
	N数	265	15,051	189	7,253	76	7,798	143	9,256	122	5,795
(2) 絶望的	いつも	7.9	2.3	6.3	2.1	12.0	2.4	10.3	2.5	5.0	1.9
	たいてい	9.0	3.2	8.9	3.1	9.3	3.3	13.1	4.2	4.1	1.7
	ときどき	25.6	14.0	24.1	13.2	29.3	14.6	26.9	14.6	24.0	12.9
	少しだけ	24.8	22.0	26.7	21.4	20.0	22.6	20.7	20.7	29.8	24.1
	まったくくない	32.7	58.6	34.0	60.2	29.3	57.1	29.0	58.0	37.2	59.5
	N数	266	15,049	191	7,251	75	7,798	145	9,258	121	5,791
(3) 落ち着かない	いつも	4.9	1.6	4.8	1.5	5.2	1.6	6.3	1.8	3.3	1.2
	たいてい	6.4	3.2	4.8	3.1	10.4	3.3	8.3	4.0	4.1	1.9
	ときどき	27.1	15.5	24.9	14.8	32.5	16.2	29.9	16.9	23.8	13.3
	少しだけ	25.9	28.0	26.5	27.8	24.7	28.2	24.3	26.2	27.9	30.9
	まったくくない	35.7	51.7	39.2	52.8	27.3	50.7	31.3	51.1	41.0	52.7
	N数	266	15,033	189	7,237	77	7,796	144	9,247	122	5,786
(4) 気が晴れない	いつも	6.7	2.2	7.3	2.0	5.3	2.4	10.3	2.5	2.5	1.7
	たいてい	8.2	3.8	7.3	3.6	10.5	4.0	10.3	4.7	5.7	2.3
	ときどき	29.6	16.7	28.3	15.0	32.9	18.3	31.7	17.9	27.1	14.8
	少しだけ	26.6	30.2	26.7	29.6	26.3	30.7	21.4	28.6	32.8	32.7
	まったくくない	28.8	47.1	30.4	49.8	25.0	44.7	26.2	46.3	32.0	48.6
	N数	267	15,042	191	7,250	76	7,792	145	9,248	122	5,794
(5) 面倒くさい	いつも	13.6	4.0	12.2	3.8	17.1	4.2	15.2	4.7	11.7	2.9
	たいてい	10.6	6.5	8.5	5.9	15.8	7.0	12.4	7.7	8.3	4.5
	ときどき	27.2	23.8	28.6	21.6	23.7	25.8	31.0	24.8	22.5	22.2
	少しだけ	29.1	34.5	31.8	33.6	22.4	35.4	24.1	32.3	35.0	38.2
	まったくくない	19.6	31.2	19.1	35.0	21.1	27.7	17.2	30.6	22.5	32.3
	N数	265	15,055	189	7,251	76	7,804	145	9,255	120	5,800
(6) 価値のない人間	いつも	13.1	2.1	12.6	2.0	14.3	2.2	14.4	2.5	11.5	1.4
	たいてい	7.8	2.6	7.9	2.5	7.8	2.6	10.3	3.2	4.9	1.5
	ときどき	23.1	10.9	20.9	10.5	28.6	11.2	26.0	11.7	19.7	9.6
	少しだけ	16.8	20.0	18.3	18.8	13.0	21.1	13.7	19.6	20.5	20.6
	まったくくない	39.2	64.5	40.3	66.3	36.4	62.9	35.6	63.0	43.4	66.9
	N数	268	15,043	191	7,248	77	7,795	146	9,251	122	5,792
K6スコア	陰性(0~4点)	15.6	24.4	16.3	28.1	13.9	20.9	14.7	25.0	16.7	23.4
	軽度(5~8点)	26.4	38.8	29.9	37.6	18.5	39.8	20.7	36.2	33.3	43.2
	中等度(9~12点)	31.6	23.9	29.3	22.6	36.9	25.2	33.6	24.1	29.2	23.6
	重度(13~24点)	26.4	12.9	24.5	11.7	30.8	14.1	31.0	14.7	20.8	9.8
	N数	212	10,893	147	5,258	65	5,635	116	6,940	96	3,953

図表 f-40 心の状態と提供的サポートとの関係 (K6 スコアの計算)

(%)		全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
		提供的サポート 欠知者	提供的サポート 非欠知者	提供的サポート 欠知者	提供的サポート 非欠知者	提供的サポート 欠知者	提供的サポート 非欠知者	提供的サポート 欠知者	提供的サポート 非欠知者	提供的サポート 欠知者	提供的サポート 非欠知者
(1) 神経過敏	いつも	9.2	4.5	6.9	3.9	13.6	5.0	8.2	5.0	10.0	3.4
	たいてい	7.7	7.2	8.0	6.6	7.1	7.9	10.3	8.3	5.7	5.1
	ときどき	24.6	30.6	24.5	29.1	25.0	32.1	22.8	30.9	26.1	30.0
	少しだけ	21.3	26.5	20.8	26.4	22.1	26.7	15.2	23.7	26.1	32.4
	まったくない	37.2	31.1	39.8	34.0	32.1	28.4	43.5	32.1	32.2	29.2
	N数	414	12,515	274	6,080	140	6,435	184	8,394	230	4,121
(2) 絶望的	いつも	8.2	2.1	7.6	2.0	9.4	2.2	9.7	2.3	7.0	1.7
	たいてい	5.3	3.4	5.1	3.3	5.8	3.6	7.6	4.3	3.5	1.8
	ときどき	21.0	13.7	18.6	12.6	25.9	14.7	18.4	14.3	23.1	12.6
	少しだけ	16.4	21.8	17.1	21.4	15.1	22.3	15.1	20.8	17.5	23.9
	まったくない	49.0	58.9	51.6	60.8	43.9	57.2	49.2	58.4	48.9	60.1
	N数	414	12,514	275	6,076	139	6,438	185	8,395	229	4,119
(3) 落ち着かない	いつも	7.3	1.3	6.2	1.3	9.3	1.4	8.7	1.6	6.1	0.8
	たいてい	4.6	3.3	5.1	3.1	3.6	3.6	5.4	4.1	3.9	1.8
	ときどき	21.5	15.6	20.4	14.6	23.6	16.5	23.2	16.6	20.1	13.5
	少しだけ	18.6	27.9	17.2	27.6	21.4	28.2	14.1	26.6	22.3	30.6
	まったくない	48.1	51.8	51.1	53.5	42.1	50.3	48.7	51.1	47.6	53.4
	N数	414	12,502	274	6,071	140	6,431	185	8,386	229	4,116
(4) 気が晴れない	いつも	8.0	2.0	8.0	1.8	7.9	2.2	9.2	2.4	7.0	1.4
	たいてい	5.8	4.0	5.8	3.6	5.8	4.4	7.6	4.9	4.4	2.0
	ときどき	25.4	16.6	21.9	14.7	32.4	18.4	26.6	17.6	24.5	14.5
	少しだけ	18.4	29.7	18.3	29.0	18.7	30.4	11.4	28.6	24.0	32.1
	まったくない	42.4	47.7	46.0	50.9	35.3	44.7	45.1	46.6	40.2	50.0
	N数	413	12,503	274	6,075	139	6,428	184	8,385	229	4,118
(5) 面倒くさい	いつも	14.0	3.9	13.1	3.7	15.8	4.1	12.4	4.7	15.3	2.4
	たいてい	8.7	6.7	9.5	5.8	7.2	7.5	11.4	7.9	6.6	4.3
	ときどき	24.9	23.3	24.4	20.9	25.9	25.6	28.7	24.3	21.8	21.3
	少しだけ	21.3	34.6	21.1	33.9	21.6	35.3	15.7	32.5	25.8	39.0
	まったくない	31.2	31.4	32.0	35.7	29.5	27.4	31.9	30.7	30.6	33.1
	N数	414	12,514	275	6,077	139	6,437	185	8,393	229	4,121
(6) 価値のない人間	いつも	8.2	2.1	7.3	2.0	10.0	2.1	6.5	2.6	9.6	1.0
	たいてい	6.5	2.5	6.9	2.3	5.7	2.7	9.7	3.2	3.9	1.2
	ときどき	18.8	10.7	18.6	9.8	19.3	11.5	20.0	11.2	17.9	9.6
	少しだけ	16.2	19.8	15.7	18.4	17.1	21.1	13.0	19.7	18.8	20.0
	まったくない	50.2	65.0	51.5	67.5	47.9	62.6	50.8	63.4	49.8	68.2
	N数	414	12,510	274	6,074	140	6,436	185	8,390	229	4,120
K6スコア	陰性(0~4点)	26.4	24.7	28.6	28.6	21.8	21.0	30.7	24.9	22.6	24.1
	軽度(5~8点)	25.5	38.4	25.9	37.5	24.6	39.2	20.3	36.3	29.9	43.2
	中等度(9~12点)	24.6	23.8	24.1	22.1	25.5	25.3	23.5	24.0	25.4	23.3
	重度(13~24点)	23.6	13.2	21.4	11.8	28.2	14.4	25.5	14.8	22.0	9.4
	N数	330	9,017	220	4,348	110	4,669	153	6,240	177	2,777

図表 f-41 心の状態と広義の社会参加との関係 (K6 スコアの計算)

(%)		全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
		社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)
(1) 神経過敏	いつも	6.8	3.9	5.8	3.3	8.0	4.5	6.8	4.4	6.9	3.2
	たいてい	8.5	6.3	8.0	5.8	9.0	6.7	9.1	7.8	7.4	4.1
	ときどき	29.9	31.1	29.9	29.2	29.9	32.8	29.9	31.9	30.0	30.0
	少しだけ	23.2	27.5	22.6	27.7	23.9	27.3	21.1	23.9	27.2	32.7
	まったくない	31.5	31.2	33.7	33.9	29.1	28.8	33.1	32.0	28.4	30.0
	N数	5,666	11,058	2,934	5,168	2,732	5,890	3,725	6,641	1,941	4,417
(2) 絶望的	いつも	4.1	1.8	3.7	1.7	4.4	2.0	3.9	2.1	3.9	2.1
	たいてい	4.8	2.6	4.5	2.5	5.1	2.8	5.8	3.4	5.8	3.4
	ときどき	17.7	12.3	17.9	10.8	17.6	13.6	17.3	13.3	17.3	13.3
	少しだけ	22.8	21.7	22.4	21.0	23.2	22.3	21.5	20.4	21.5	20.4
	まったくない	50.6	61.5	51.5	64.1	49.7	59.3	51.6	60.8	51.6	60.8
	N数	5,660	11,068	2,935	5,171	2,725	5,897	3,721	6,651	1,941	4,413
(3) 落ち着かない	いつも	2.8	1.3	2.5	1.2	3.2	1.4	2.7	1.6	3.1	1.0
	たいてい	4.6	2.6	4.4	2.4	4.9	2.7	5.4	3.3	3.2	1.5
	ときどき	18.3	14.2	18.0	13.4	18.7	14.9	18.9	15.9	17.2	11.6
	少しだけ	25.7	28.6	25.4	28.0	26.0	29.1	24.5	27.0	28.1	31.0
	まったくない	48.5	53.3	49.7	55.0	47.2	51.8	48.5	52.3	48.5	54.9
	N数	5,653	11,057	2,929	5,162	2,724	5,895	3,718	6,644	1,935	4,413
(4) 気が晴れない	いつも	4.2	1.6	3.9	1.4	4.4	1.8	4.1	1.9	4.3	1.2
	たいてい	5.5	3.1	5.1	3.0	6.0	3.2	6.2	4.1	4.1	1.7
	ときどき	20.2	15.4	18.7	13.3	21.8	17.2	20.3	16.9	20.1	13.1
	少しだけ	28.1	30.3	27.3	29.3	29.0	31.2	27.0	28.6	30.3	32.9
	まったくない	42.0	49.6	45.0	53.0	38.8	46.7	42.4	48.6	41.3	51.1
	N数	5,658	11,059	2,934	5,168	2,724	5,891	3,719	6,641	1,939	4,418
(5) 面倒くさい	いつも	7.3	3.1	7.2	2.7	7.4	3.5	7.2	3.8	7.5	2.1
	たいてい	8.6	5.6	8.0	4.9	9.2	6.2	9.5	6.8	6.9	3.9
	ときどき	25.6	22.9	24.5	20.2	26.9	25.2	25.9	24.1	25.1	21.0
	少しだけ	30.2	35.9	29.5	35.0	30.8	36.7	28.6	33.4	33.2	39.6
	まったくない	28.3	32.6	30.8	37.2	25.7	28.5	28.9	32.0	27.3	33.5
	N数	5,664	11,066	2,936	5,169	2,728	5,897	3,719	6,647	1,945	4,419
(6) 価値のない人間	いつも	4.4	1.5	4.2	1.3	4.6	1.7	4.6	1.8	3.8	1.0
	たいてい	4.1	1.9	4.4	1.8	3.8	2.1	4.7	2.6	2.8	1.0
	ときどき	14.2	9.6	14.1	8.5	14.3	10.7	14.2	10.5	14.1	8.3
	少しだけ	21.4	19.0	20.4	17.6	22.6	20.2	20.3	18.7	23.6	19.4
	まったくない	56.0	68.0	57.0	70.9	54.9	65.4	56.2	66.4	55.6	70.3
	N数	5,661	11,059	2,934	5,167	2,727	5,892	3,720	6,645	1,941	4,414
K6スコア	陰性(0~4点)	22.8	25.6	25.4	30.1	20.0	21.8	24.3	25.8	19.7	25.3
	軽度(5~8点)	32.9	40.7	32.3	39.8	33.6	41.4	31.6	37.7	35.6	45.6
	中等度(9~12点)	25.6	22.9	25.3	20.7	25.9	24.8	24.7	23.8	27.4	21.3
	重度(13~24点)	18.7	10.8	17.0	9.5	20.6	12.0	19.4	12.6	17.4	7.8
	N数	4,318	7,812	2,234	3,640	2,084	4,172	2,889	4,891	1,429	2,921

図表 f-42 心の状態と狭義の社会参加との関係 (K6 スコアの計算)

(%)		全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
		社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)
(1) 神経 過敏	いつも	4.2	5.0	2.6	4.3	5.5	5.6	4.5	5.3	3.5	4.4
	たいてい	8.8	6.9	8.8	6.5	8.9	7.3	9.3	8.2	7.8	5.0
	ときどき	35.2	30.4	31.3	29.4	38.5	31.4	35.0	30.8	35.7	29.7
	少しだけ	26.7	26.0	26.9	25.7	26.6	26.2	25.5	22.7	29.3	31.2
	まったくない	25.1	31.8	30.5	34.1	20.6	29.5	25.7	33.0	23.8	29.8
	N数	1,097	15,627	499	7,603	598	8,024	752	9,614	345	6,013
(2) 絶望 的	いつも	2.0	2.6	2.0	2.5	2.0	2.8	1.6	2.9	2.9	2.3
	たいてい	4.8	3.3	3.6	3.2	5.9	3.3	5.3	4.2	3.8	1.8
	ときどき	15.7	14.0	15.2	13.2	16.1	14.8	15.8	14.7	15.4	13.0
	少しだけ	25.0	21.9	26.6	21.2	23.6	22.5	22.2	20.7	31.0	23.8
	まったくない	52.6	58.2	52.6	60.0	52.5	56.6	55.1	57.7	47.0	59.1
	N数	1,098	15,630	500	7,606	598	8,024	753	9,619	345	6,011
(3) 落ち 着かない	いつも	1.4	1.9	0.8	1.7	1.8	2.0	1.5	2.0	1.2	1.7
	たいてい	4.5	3.2	3.8	3.1	5.0	3.3	5.1	3.9	3.2	2.0
	ときどき	17.4	15.5	16.5	15.0	18.2	16.0	18.4	16.9	15.4	13.2
	少しだけ	30.9	27.4	31.6	26.8	30.4	28.0	28.9	25.9	35.4	29.8
	まったくない	45.8	52.1	47.3	53.5	44.6	50.8	46.2	51.3	44.9	53.4
	N数	1,096	15,614	497	7,594	599	8,020	751	9,611	345	6,003
(4) 気が 晴れない	いつも	1.9	2.5	1.6	2.4	2.2	2.7	1.6	2.8	2.6	2.1
	たいてい	5.6	3.8	5.4	3.6	5.7	4.0	6.5	4.7	3.5	2.4
	ときどき	18.2	16.9	17.8	15.1	18.5	18.7	18.6	18.1	17.2	15.1
	少しだけ	34.5	29.2	32.7	28.3	35.9	30.1	32.6	27.6	38.5	31.7
	まったくない	39.9	47.6	42.5	50.6	37.7	44.7	40.7	46.8	38.2	48.7
	N数	1,100	15,617	501	7,601	599	8,016	752	9,608	348	6,009
(5) 面倒 くさい	いつも	3.8	4.6	2.4	4.4	5.0	4.7	4.4	5.1	2.6	3.8
	たいてい	6.5	6.6	7.0	6.0	6.0	7.2	6.3	7.9	6.9	4.7
	ときどき	24.5	23.8	21.5	21.8	27.0	25.6	24.7	24.8	24.0	22.1
	少しだけ	39.6	33.5	37.8	32.7	41.2	34.3	37.4	31.2	44.5	37.3
	まったくない	25.6	31.5	31.3	35.1	20.8	28.1	27.3	31.1	22.0	32.2
	N数	1,098	15,632	498	7,607	600	8,025	752	9,614	346	6,018
(6) 価値 のない人 間	いつも	2.3	2.5	1.6	2.4	2.8	2.6	2.7	2.8	1.5	1.9
	たいてい	3.7	2.6	4.0	2.6	3.5	2.6	4.0	3.3	3.2	1.5
	ときどき	11.4	11.2	10.8	10.5	11.9	11.8	11.3	11.9	11.6	10.0
	少しだけ	23.7	19.5	22.2	18.4	24.9	20.6	22.5	19.0	26.3	20.3
	まったくない	58.9	64.3	61.3	66.2	56.9	62.4	59.6	63.0	57.5	66.3
	N数	1,098	15,622	499	7,602	599	8,020	752	9,613	346	6,009
K6スコア	陰性(0~4点)	17.1	25.2	22.2	28.7	13.0	21.8	17.9	25.8	15.3	24.0
	軽度(5~8点)	43.1	37.5	42.2	36.6	43.8	38.4	42.3	34.9	44.7	42.2
	中等度(9~12点)	24.0	23.8	21.4	22.5	26.1	25.1	23.3	24.2	25.5	23.1
	重度(13~24点)	15.9	13.5	14.3	12.2	17.2	14.7	16.5	15.0	14.5	10.7
	N数	813	11,317	365	5,509	448	5,808	558	7,222	255	4,095

図表 f-43 就業状態と会話関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	会話 欠知者	会話 非欠知者	会話 欠知者	会話 非欠知者	会話 欠知者	会話 非欠知者	会話 欠知者	会話 非欠知者	会話 欠知者	会話 非欠知者
仕事をしている	36.0	63.8	38.2	72.7	31.0	55.7	54.8	80.7	22.3	38.9
仕事をしていない(探している)	18.4	6.7	20.5	5.5	13.8	7.8	22.6	5.5	15.4	8.4
仕事をしていない(探していない学生)	45.7	29.5	41.3	21.8	55.2	36.5	22.6	13.8	62.3	52.7
N数	370	17,963	254	8,603	116	9,360	155	10,718	215	7,245

図表 f-44 就業状態と広義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)
仕事をしている	62.6	66.4	68.4	75.3	56.2	58.0	75.0	82.6	39.3	39.6
仕事をしていない(探している)	7.5	6.4	7.3	5.2	7.8	7.6	6.8	5.4	8.9	8.2
仕事をしていない(探していない学生)	29.9	27.2	24.4	19.5	36.0	34.4	18.2	12.0	51.8	52.2
N数	2,127	12,769	1,113	6,167	1,014	6,602	1,386	7,951	741	4,818

図表 f-45 就業状態と狭義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)
仕事をしている	56.2	66.0	56.0	74.7	56.7	57.8	73.6	81.6	32.7	39.7
仕事をしていない(探している)	13.2	6.5	14.1	5.3	10.5	7.6	12.5	5.5	14.0	8.1
仕事をしていない(探していない学生)	30.7	27.5	29.9	20.0	32.8	34.6	13.9	12.9	53.3	52.2
N数	251	14,645	184	7,096	67	7,549	144	9,193	107	5,452

図表 f-46 就業状態と提供的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	提供的 サポート 欠知者	提供的 サポート 非欠知者	提供的 サポート 欠知者	提供的 サポート 非欠知者	提供的 サポート 欠知者	提供的 サポート 非欠知者	提供的 サポート 欠知者	提供的 サポート 非欠知者	提供的 サポート 欠知者	提供的 サポート 非欠知者
仕事をしている	49.8	71.6	60.4	78.7	27.0	64.8	75.1	83.3	28.4	47.1
仕事をしていない(探している)	9.1	5.5	8.9	4.7	9.5	6.3	9.9	4.8	8.4	7.1
仕事をしていない(探していない学生)	41.2	22.9	30.7	16.6	63.5	28.9	14.9	11.9	63.3	45.8
N数	396	12,329	270	5,996	126	6,333	181	8,341	215	3,988

図表 f-47 就業状態と広義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)
仕事をしている	62.2	67.3	70.4	76.2	53.2	59.3	75.6	83.3	34.2	42.1
仕事をしていない(探している)	8.5	5.6	8.4	4.1	8.6	7.0	7.8	4.6	9.9	7.2
仕事をしていない(探していない学生)	29.4	27.2	21.2	19.8	38.3	33.7	16.6	12.1	56.0	50.7
N数	5,446	10,816	2,842	5,083	2,604	5,733	3,683	6,602	1,763	4,214

図表 f-48 就業状態と狭義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性		60歳未満		60歳以上	
	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)
仕事をしている	72.4	65.1	81.4	73.6	64.9	56.8	83.6	80.3	46.4	39.4
仕事をしていない(探している)	7.6	6.5	6.6	5.6	8.5	7.4	5.9	5.7	11.6	7.8
仕事をしていない(探していない学生)	19.9	28.5	12.0	20.8	26.6	35.8	10.5	14.0	42.0	52.8
N数	1,063	15,199	484	7,441	579	7,758	744	9,541	319	5,658

図表 f-49 現在の暮らし向きと会話関係

(%)	全数		男性		女性	
	会話 欠知者	会話 非欠知者	会話 欠知者	会話 非欠知者	会話 欠知者	会話 非欠知者
大変ゆとりがある	2.2	2.0	1.8	1.7	2.8	2.2
ややゆとりがある	1.5	9.3	1.8	9.5	0.7	9.2
普通	40.7	55.3	42.5	55.1	37.3	55.4
やや苦しい	31.3	25.4	27.1	25.3	39.4	25.5
大変苦しい	24.3	8.1	26.7	8.4	19.7	7.8
N数	415	18,732	273	8,861	142	9,871

図表 f-50 現在の暮らし向きと広義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性	
	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)
大変ゆとりがある	2.9	1.9	2.9	1.6	2.9	2.2
ややゆとりがある	10.6	9.6	9.9	9.8	11.3	9.4
普通	54.0	54.8	53.5	55.1	54.5	54.5
やや苦しい	22.0	25.8	21.6	25.2	22.3	26.3
大変苦しい	10.6	8.0	12.1	8.4	9.1	7.7
N数	2,181	13,149	1,133	6,317	1,048	6,832

図表 f-51 現在の暮らし向きと狭義の受領的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性	
	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)
大変ゆとりがある	1.1	2.1	0.5	1.9	2.6	2.2
ややゆとりがある	3.0	9.8	2.6	10.0	4.0	9.7
普通	38.4	55.0	38.5	55.3	38.2	54.7
やや苦しい	29.5	25.2	29.2	24.5	30.3	25.7
大変苦しい	28.0	8.0	29.2	8.4	25.0	7.7
N数	268	15,062	192	7,258	76	7,804

図表 f-52 現在の暮らし向きと提供的サポートとの関係

(%)	全数		男性		女性	
	提供的 サポート 欠知者	提供的 サポート 非欠知者	提供的 サポート 欠知者	提供的 サポート 非欠知者	提供的 サポート 欠知者	提供的 サポート 非欠知者
大変ゆとりがある	2.2	2.2	1.5	1.9	3.6	2.4
ややゆとりがある	3.9	10.2	3.6	10.3	4.4	10.1
普通	49.2	54.8	47.6	55.2	52.2	54.4
やや苦しい	26.6	24.8	28.7	24.3	22.5	25.2
大変苦しい	18.2	8.1	18.6	8.3	17.4	7.9
N数	413	12,508	275	6,078	138	6,430

図表 f-53 現在の暮らし向きと広義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性	
	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)
大変ゆとりがある	2.1	2.0	1.8	1.8	2.4	2.2
ややゆとりがある	6.9	10.6	7.0	10.8	6.9	10.3
普通	52.4	55.9	52.4	56.2	52.5	55.7
やや苦しい	27.2	24.6	26.9	24.0	27.5	25.0
大変苦しい	11.4	7.0	12.0	7.2	10.8	6.8
N数	5,665	11,045	2,936	5,167	2,729	5,878

図表 f-54 現在の暮らし向きと狭義の社会参加との関係

(%)	全数		男性		女性	
	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)
大変ゆとりがある	2.1	2.0	1.4	1.8	2.7	2.2
ややゆとりがある	11.1	9.2	12.2	9.2	10.2	9.2
普通	49.7	55.1	48.6	55.2	50.6	55.0
やや苦しい	27.5	25.3	28.1	24.9	27.0	25.7
大変苦しい	9.7	8.4	9.8	8.9	9.7	7.9
N数	1,103	15,607	502	7,601	601	8,006

図表 f-55 等価可処分所得十分位と会話関係

(%)	全数	
	会話 欠知者	会話 非欠知者
第I十分位	26.9	7.0
第II十分位	15.1	7.9
第III十分位	12.9	9.0
第IV十分位	8.9	8.7
第V十分位	8.1	10.2
第VI十分位	6.2	10.2
第VII十分位	9.1	10.7
第VIII十分位	5.1	11.9
第IX十分位	4.3	12.6
第X十分位	3.5	11.7
N数	372	17,692

図表 f-56 等価可処分所得十分位と広義の受領的サポートとの関係

(%)	全数	
	受領的 サポート 欠知者 (広義)	受領的 サポート 非欠知者 (広義)
第I十分位	8.3	6.1
第II十分位	6.7	7.3
第III十分位	8.3	8.4
第IV十分位	7.5	8.6
第V十分位	9.0	10.5
第VI十分位	7.6	10.7
第VII十分位	11.4	11.0
第VIII十分位	12.1	12.2
第IX十分位	14.4	13.1
第X十分位	14.7	12.3
N数	2,086	12,576

図表 f-57 等価可処分所得十分位と狭義の受領的サポートとの関係

(%)	全数	
	受領的 サポート 欠知者 (狭義)	受領的 サポート 非欠知者 (狭義)
第I十分位	21.5	6.1
第II十分位	14.2	7.1
第III十分位	9.4	8.4
第IV十分位	11.0	8.4
第V十分位	7.7	10.3
第VI十分位	6.1	10.3
第VII十分位	8.9	11.0
第VIII十分位	6.1	12.3
第IX十分位	8.9	13.4
第X十分位	6.1	12.7
N数	246	14,416

図表 f-58 等価可処分所得十分位と提供的サポートとの関係

(%)	全数	
	提供的サポート 欠知者	提供的サポート 非欠知者
第I十分位	14.1	4.8
第II十分位	13.5	6.7
第III十分位	14.6	7.9
第IV十分位	9.9	8.1
第V十分位	8.3	9.8
第VI十分位	5.2	10.6
第VII十分位	7.3	11.7
第VIII十分位	12.0	12.6
第IX十分位	9.4	14.0
第X十分位	5.7	13.8
N数	384	12,034

図表 f-59 等価可処分所得十分位と広義の社会参加との関係

(%)	全数	
	社会参加 欠知者 (広義)	社会参加 非欠知者 (広義)
第I十分位	10.2	5.1
第II十分位	8.8	7.1
第III十分位	9.8	8.3
第IV十分位	8.4	8.5
第V十分位	9.6	10.1
第VI十分位	9.7	10.5
第VII十分位	9.7	11.4
第VIII十分位	11.5	12.5
第IX十分位	12.7	13.1
第X十分位	9.7	13.5
N数	5,323	10,599

図表 f-60 等価可処分所得十分位と狭義の社会参加との関係

(%)	全数	
	社会参加 欠知者 (狭義)	社会参加 非欠知者 (狭義)
第I十分位	6.5	6.8
第II十分位	9.0	7.5
第III十分位	8.0	8.9
第IV十分位	7.4	8.5
第V十分位	9.2	10.0
第VI十分位	9.7	10.3
第VII十分位	12.6	10.7
第VIII十分位	12.4	12.1
第IX十分位	12.4	13.1
第X十分位	12.8	12.1
N数	1,048	14,874

図表 f-61 社会的孤立指標の分布（性別・年齢コホート別）※1

	全数	男性	女性	60歳未 満	60歳以 上
0要素に該当	59.5	57.0	62.0	58.1	62.7
1要素に該当					
会話欠如	0.4	0.5	0.2	0.3	0.5
受領的サポート欠如	8.4	8.2	8.6	8.2	9.1
提供的サポート欠如	0.5	0.6	0.3	0.3	0.9
社会参加欠如	22.4	23.3	21.5	24.3	18.0
2要素に該当					
会話＋受領	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2
会話＋提供	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
会話＋社会参加	0.5	0.6	0.3	0.4	0.6
受領＋提供	0.3	0.6	0.1	0.3	0.5
受領＋社会参加	5.3	5.6	5.1	6.2	3.3
提供＋社会参加	0.9	1.1	0.8	0.5	1.8
3要素に該当					
会話＋受領＋提供	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
会話＋受領＋社会参加	0.3	0.4	0.1	0.3	0.3
会話＋提供＋社会参加	0.2	0.3	0.1	0.1	0.4
受領＋提供＋社会参加	0.9	1.2	0.6	0.7	1.3
4要素に該当	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3
N数	10,713	5,315	5,398	7,402	3,311

※1：会話、受領的サポート（広義）、提供的サポート、社会参加（広義）

図表 f-62 社会的孤立指標の分布（性別・年齢コホート別）※2

	全数	男性	女性	60歳未 満	60歳以 上
0要素に該当	88.0	86.9	89.1	88.5	86.8
1要素に該当					
会話欠如	1.0	1.3	0.7	0.9	1.2
受領的サポート欠如	0.8	1.0	0.5	0.8	0.8
提供的サポート欠如	2.1	2.6	1.5	1.4	3.5
社会参加欠如	6.9	6.2	7.5	7.5	5.5
2要素に該当					
会話＋受領	0.2	0.4	0.0	0.2	0.2
会話＋提供	0.4	0.5	0.2	0.2	0.6
会話＋社会参加	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
受領＋提供	0.5	0.7	0.2	0.4	0.7
受領＋社会参加	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
提供＋社会参加	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
3要素に該当					
会話＋受領＋提供	0.2	0.3	0.1	0.1	0.3
会話＋受領＋社会参加					
会話＋提供＋社会参加					
受領＋提供＋社会参加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
4要素に該当					
N数	10,713	5,315	5,398	7,402	3,311

※2：会話、受領的サポート（狭義）、提供的サポート、社会参加（狭義）